

CD/DVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DVP-S501D

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。46ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

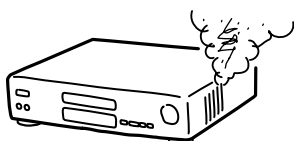
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりさし込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



強制



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠警告・⚠注意	4
設置と準備	
付属品を確認する	10
接続する	10
使う前に必要な設定をする	13
ここだけ読んでも使えます	
DVDを再生する	14
CD/ビデオCDを再生する	18
その他の操作	
テレビ画面表示の見かた	22
表示窓の見かた	24
繰り返し再生する（リピート再生）	26
順不同に再生する（シャッフル再生）	27
好きな順に再生する（プログラム再生）	28
再生を止めたあと、そのつづきから再生する（つづき再生）	29
音声を切り換える	30
字幕を表示する	30
アングルを切り換える	31
年齢による視聴制限をする	32
付属のリモコンでテレビやアンプを操作する	34
設定と調整	
SET UP（設定）画面での設定/調整のしかた	36
表示言語や音声言語の設定（言語設定）	37
画像に関する設定（初期設定1）	38
音声に関する設定（初期設定2）	39
ドルビー*デジタルサラウンド	
ドルビーデジタルサラウンドとは？	40
サラウンドシステムの設置と接続をする	40
スピーカーの設定をする	42
ドルビーデジタルサラウンドで聞く	44
その他	
使用上のご注意	46
ディスクの取り扱い上のご注意	46
故障かな？と思ったら	47
保証書とアフターサービス	48
自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）	49
主な仕様	50
用語解説	51
各部のなまえ	52
SET UP（設定）画面項目一覧表	55
言語コード一覧表	56
索引	57

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、「Pro Logic」及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



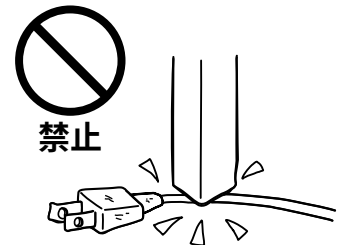
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

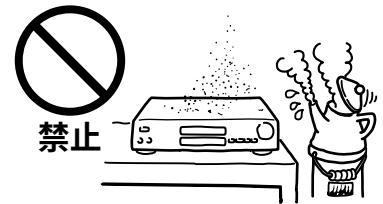
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご交換をご依頼ください。



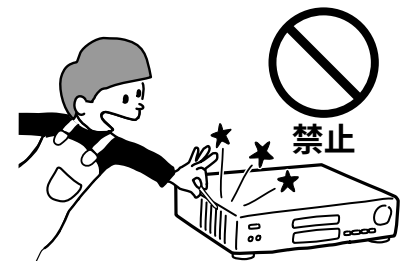
湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本体上面や本体近くに物を置かないようにしてください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解や改造をしない

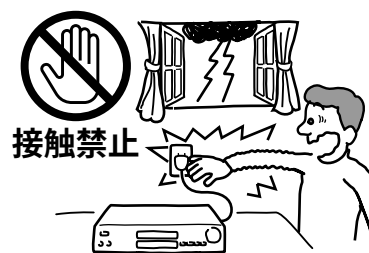
火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

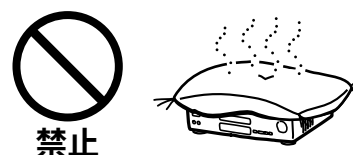
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



本体を布団などでおおった状態で使用しない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



(次ページへ続く)

**注意**

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

**禁止**

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、本機のように雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。

**禁止**

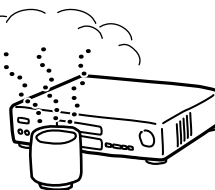
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。

**禁止**

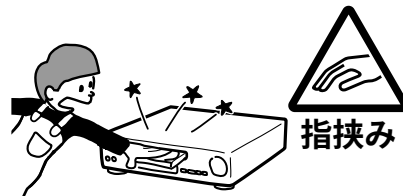
トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。

**禁止**

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

**指挟み**

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。じゅうぶんに注意して接続、配置してください。

**強制**

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

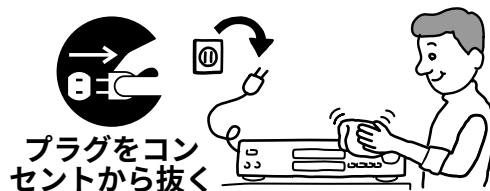
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

この取扱説明書の使いかた

- ・「設置と準備」(10～13ページ) をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- ・基本的な使いかたは、「DVDを再生する」(14～17ページ)、「CD/ビデオCDを再生する」(18～21ページ) をご覧ください。
- ・さらに進んだ使い方については、22ページ以降をご覧ください。
- ・この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作します。
	知っていると便利な情報です。
	DVDビデオで使える機能です。
	ビデオCDで使える機能です。
	音楽用CDで使える機能です。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

ディスクの種類	DVDビデオ		ビデオCD		音楽用CD	
ディスクに付いているマーク(ロゴ)						
記録しているもの	音声+映像		音声+映像		音声	
ディスクの大きさ	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm	8cm (CDシングル)
最長再生時間	約4時間(片面) 約8時間(両面)	約80分(片面) 約160分(両面)	74分	20分	74分	20分

"DVD VIDEO" ロゴは商標です。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスクは再生できません。

再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について

DVDには^②のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、または^③の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVD、ビデオCD再生時の操作上のご注意

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。

ただしそれらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明

• タイトル

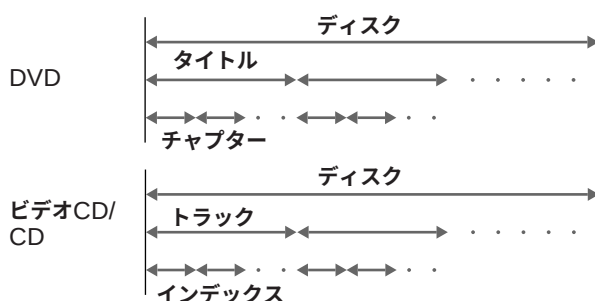
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

• チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

• トラック

ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。



• インデックス (CD) /ビデオインデックス (ビデオCD)

ビデオCDおよびCDで、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

• シーン

PBC対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンと言います。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号と言います。

PBC (プレイバックコントロール) について (ビデオCD)

本機は、PBC対応ビデオCD (バージョン2.0) にも対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です。)

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD (バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像 (動画) を再生できます。
PBC対応ビデオCD (バージョン2.0)	上記 (PBC対応でない場合) の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面 (選択画面) を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます (PBC再生、21ページ)。また、高精細の静止画も再生できます。

本機で再生できないディスクについて

本機では次のディスクを再生することはできません。

- CD-ROM (PHOTO CDを含む)
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM など

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

付属品を確認する

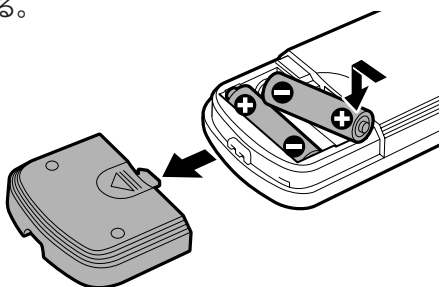
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像音声コード
(ピンプラグ×3 ↔ ピンプラグ×3) (1)
- S映像コード (1)
- リモコン RMT-D102J (1)
- 単3形乾電池 (NS) (2)
- ソニーご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池（付属）2個を入れる。



 **リモコンでテレビやソニー製のAVアンプを操作できます。**

34ページをご覧ください。

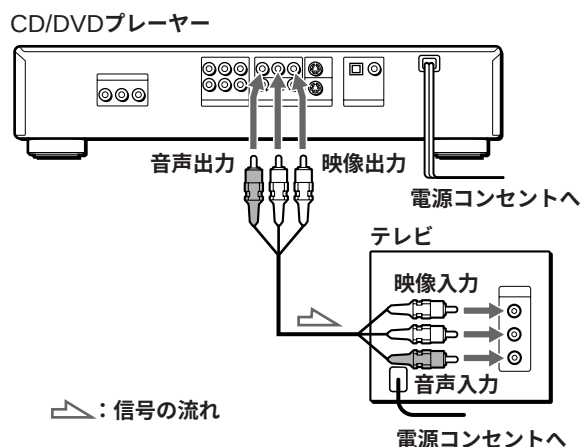
ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

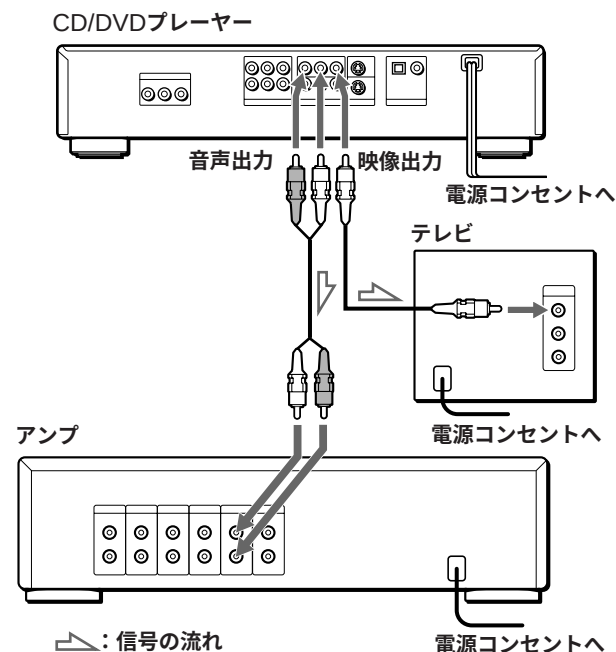
接続する

テレビやアンプとCD/DVDプレーヤーを接続します。
なお、本機は映像入力端子がないテレビには接続できません。接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。

■ テレビのスピーカーから音を出すとき (2ch・L,R)



■ アンプにつないだスピーカーから音を出すとき (2ch・L,R)



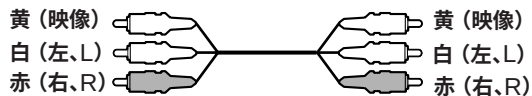
■ 5.1ch入力対応のアンプにつないでドルビーデジタルサラウンドを楽しむとき

40ページをご覧ください。

以下の手順でつなぎます。

1 必要な接続コードを用意する。

映像音声コード（付属）



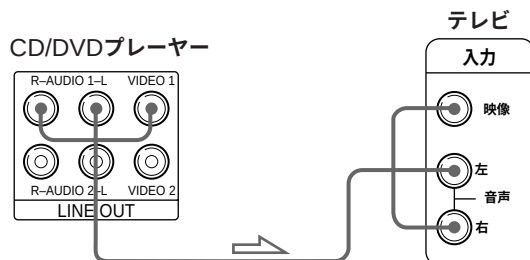
2 つなぐ。

黄 (映像) 端子に黄プラグを、白 (左、L) 端子には白プラグを、赤 (右、R) 端子には赤プラグをつなぎます。

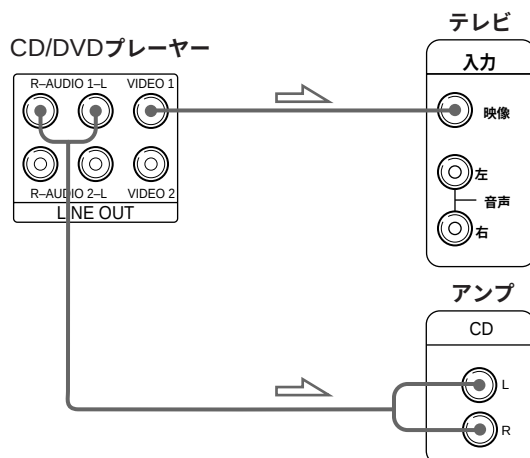
つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音やノイズの原因になります。

■ テレビのスピーカーから音を出すとき

映像／音声コード（付属）でテレビにつなぎます。



■ アンプにつないだスピーカーから音を出すとき



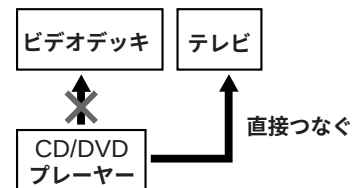
アンプがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

コンセントにつなぐとPOWERスイッチのランプが赤く点灯します。

ご注意

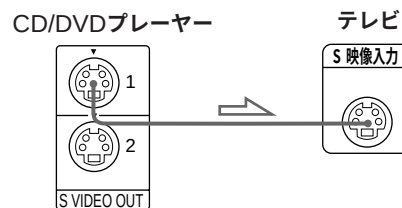
- 右記のようにビデオデッキを経由して本機の映像をテレビで見ようとすると、画像が乱れることがあります。本機とビデオデッキは接続しないでください。



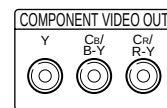
- テレビやアンプによっては音声出力のレベルが高く、音が歪むことがあります。そのときはSET UP (設定) 画面の「初期設定2」から「オーディオ ATT」を選んで「入」にしてください。(くわしくは39ページをご覧ください。)

💡 S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは
黄色の映像コードでつなぐ代わりに、S映像コード（付属）を使ってつなぎます。さらに鮮明な映像が楽しめます。

S映像コード（付属）



💡 本機のコンポーネントビデオ出力端子 (Y、C_B/B-Y、C_R/R-Y) の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターにつなぐときは
手順2でコンポーネント映像コード（別売り）または同じ映像コード3本（別売り）を使います。より高画質の映像が楽しめます。



ご注意

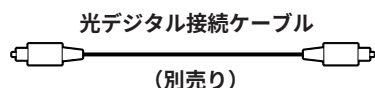
つなぐ機器の説明書もご覧ください。

デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐときは

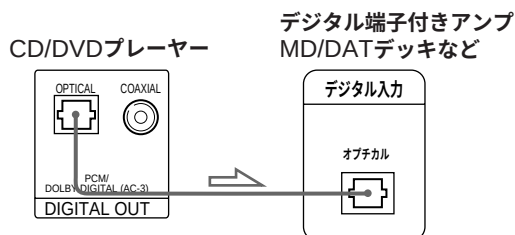
オーディオ用光デジタル接続ケーブル（別売り）またはオーディオ用同軸デジタル接続ケーブル（別売り）を使います。

この接続をしたときは、SET UP（設定）画面の「初期設定2」の「音声デジタル出力」を「PCM」に設定しておきます（39ページ）。

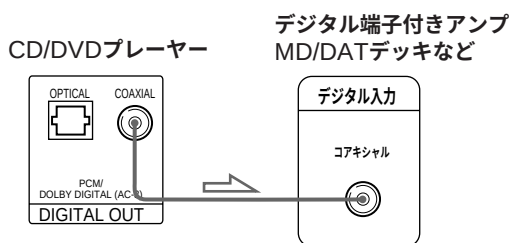
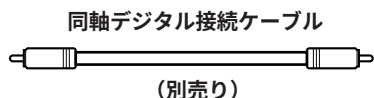
■ 光デジタル接続ケーブルを使うとき



端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかりと差し込みます。



■ 同軸デジタル接続ケーブルを使うとき



ご注意

- つなぐ機器の説明書もご覧ください。
- ドルビーデジタル（AC-3）方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

この接続をしたときはSET UP（設定）画面の「初期設定2」の「音声デジタル出力」を「ドルビーデジタル/PCM」にしないでください。突然大音量が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

使う前に必要な設定をする

接続したテレビやその他の機器に合わせて、CD/DVD プレーヤーの設定をします。設定のしかたは36ページを、設定内容については37～39ページ、ドルビーデジタルサラウンドの設定については42～44ページをご覧ください。

■ ワイドテレビとつないだとき

SET UP (設定) 画面の「初期設定1」の「TVタイプ」を「16:9」にする。お買い上げ時は「16:9」に設定されています。

■ 通常のテレビとつないだとき

SET UP (設定) 画面の「初期設定1」の「TVタイプ」を「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」にする (38ページ)。

■ ドルビーデジタル (AC-3) 対応でないデジタルアンプにつないで音を出すとき/MDやDATなどのデジタル機器に出力するとき

SET UP (設定) 画面の「初期設定2」の「音声デジタル出力」を「PCM」にする。お買い上げ時は「PCM」に設定されています。

■ 5.1ch出力端子にスピーカーをつないでドルビーデジタルサラウンドを楽しむとき

SET UP (設定) 画面の「5.1チャンネル出力設定2」の「音声モード」を「切」にする。お買い上げ時は「切」に設定されています。スピーカーの接続については40ページを、個々のスピーカーの大きさ、距離やバランスの設定についてくわしくは42ページをごらんください。

■ ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器につなぐとき

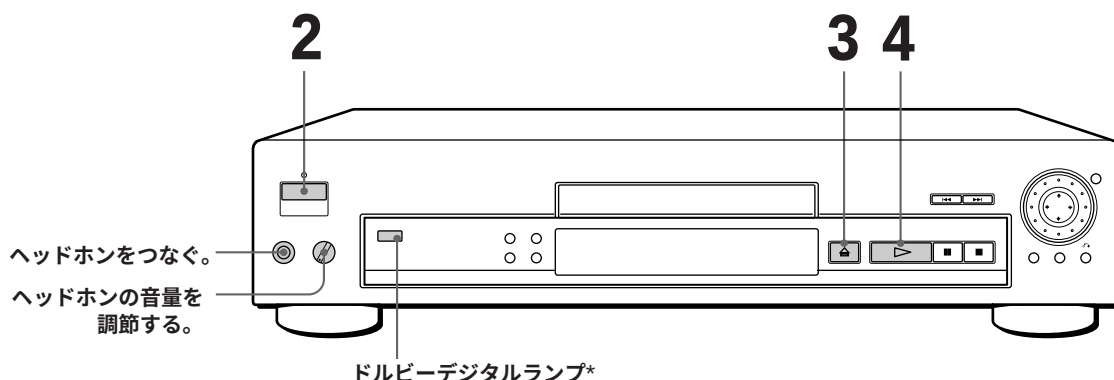
SET UP (設定) 画面の「初期設定2」の「音声デジタル出力」を「ドルビーデジタル/PCM」にする。

その他、画像や音声についての設定は主にSET UP (設定) 画面を使って行います。くわしくは36ページをご覧ください。

フロントスピーカーだけをつないでお使いのときは、「5.1チャンネル出力設定2」の「音声モード」を「VES A」または「VES B」にするとサラウンドをお楽しみいただけます。くわしくは44ページをご覧ください。

基本的な使いかたは、「DVDを再生する」(次ページから)、「CD/ビデオCDを再生する」(18ページから)をご覧ください。
その他の使いかたは、22ページからをご覧ください。

DVDを再生する



- CD/ビデオCDの再生については18ページをご覧ください。(操作方法が異なります。)



リモコンでも電源を入れることができます。

本体前面のPOWERスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。

- * ドルビーデジタルランプは次のとき以外はいつも点灯します。
 - ビデオCD/CDを入れたとき
 - 現在の音声トラックがPCMまたはMPEGオーディオのとき

ご注意

- 一時停止中、15分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。▶を押すとスクリーンセーバーが消えます。
- 停止中、30分以上本体またはリモコンを操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声が聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

POWERスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

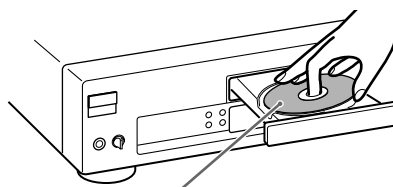
罫を押す。

ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



再生したい面を下に

メニュー画面が表示されたときは

再生するDVDによっては手順4を行うとタイトルメニューやDVDメニューが表示される場合があります。くわしくは17ページをご覧ください。

DVDによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するDVDに付属の説明書も必ずご覧ください。

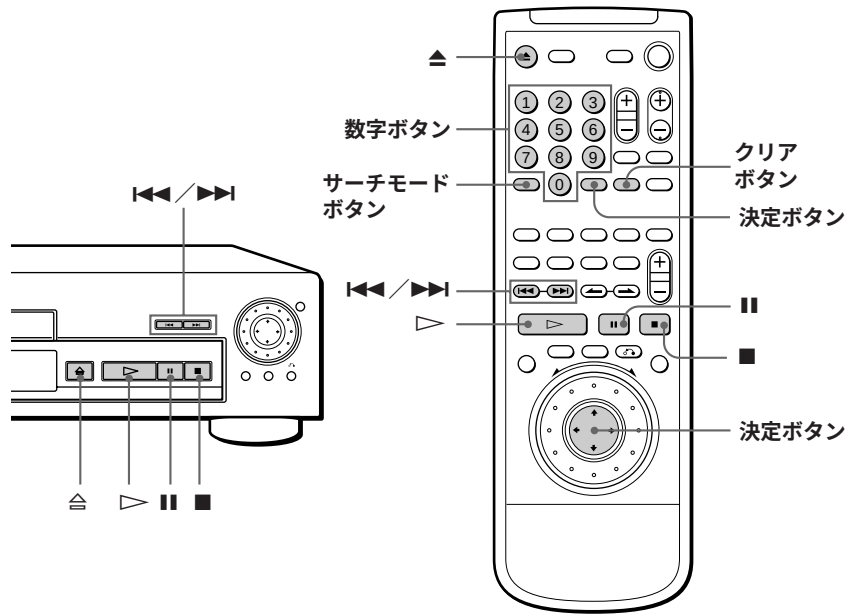


表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。

再生を止めた場所のつづきから再生できます。DVDの最初から再生したいときは29ページをご覧ください。

ご注意

DVDによってはつづき再生ができない場合があります。



チャプター/タイトルとは？
9ページをご覧ください。



サーチモードボタンを押すたびに
「チャプターサーチ」、「タイトルサーチ」、「タイムサーチ」が表示されます。

ご注意

DVDによっては操作が禁止されている場合があります。

その他の操作

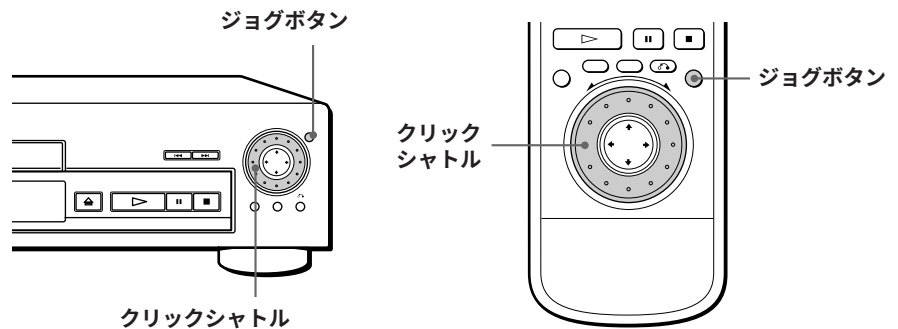
こんなときは	このボタンを押す
止める	■
途中で止める	
途中で止めたあと、つづきを再生する	または▷
再生中にチャプターを進める	▶▶
再生中にチャプターを戻す	◀◀
再生するチャプターを選ぶ	1 画面に「チャプターサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す 2 数字ボタンでチャプター番号を選び決定ボタン(または▷)
再生するタイトルを選ぶ	1 画面に「タイトルサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す 2 数字ボタンでタイトル番号を選び決定ボタン(または▷)
再生を始める時間を選ぶ	1 画面に「タイムサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す 2 数字ボタンで時間を入力し決定ボタン(または▷)
ディスクを取り出す	▲

数字ボタンの入力を間違えたときは

クリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押す。

速さを変えて再生する/コマ送りする

クリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生したりコマ送りすることができます。ジョグボタンを押すたびに、ジョグモードとシャトルモードが切り換わります。



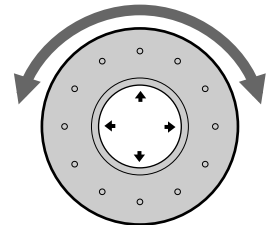
ご注意

- DVDによっては操作が禁止されている場合があります。
- 2倍速再生時には画像に対応した音声（通常より小さい音）が LINE OUT (AUDIO 1,2) 端子より出力されます。この場合、DIGITAL OUT端子からは音声は出力されません。また、「5.1チャンネル出力設定2」の「音声モード」で「VES A」または「VES B」を選んでいるときは音声は出力されません。（44ページ）

■ 速さを変えて再生する（シャトルモード）

クリックシャトルを回す。
回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。

早送り2▶▶（通常の約30倍）
↕
早送り1▶▶（通常の約10倍）
↕
×2▶（約2倍速）
↕
再生▶（通常の再生）
↕
スロー1◀◀
↕
スロー2◀◀（スロー1より遅い）
↕
一時停止⏸
↕
スロー2◀◀（逆方向：スロー1より遅い）
↕
スロー1◀◀（逆方向）
↕
×2◀（逆方向：約2倍速）
↕
早戻し1◀◀（通常の約10倍）
↕
早戻し2◀◀（通常の約30倍）



すばやく回すと早送り2▶▶/早戻し2◀◀になります。

ご注意

- ジョグボタンはすぐ隣のクリックシャトルがジョグモードのときだけ点灯します。たとえ本体のジョグボタンが点灯していても、リモコンのジョグボタンが点灯していなければリモコンのクリックシャトルはシャトルモードのままです。
- ジョグボタンを押してからクリックシャトルに触れないで20秒たつと、リモコンはシャトルモードに戻ります。本体ではジョグモードのままです。

■ 速さを変えてコマ送りする（ジョグモード）

- 1 ジョグボタンを押す。
ジョグモードではジョグボタンが点灯します。本体のジョグボタンを押したときは一時停止になります。
- 2 クリックシャトルを回す。

クリックシャトルを回す速さに応じて再生方向または逆方向に、コマ送りされます。
ある程度以上一定の速さになると、スローまたはふつうの再生になります。

■ ふつうの再生に戻す

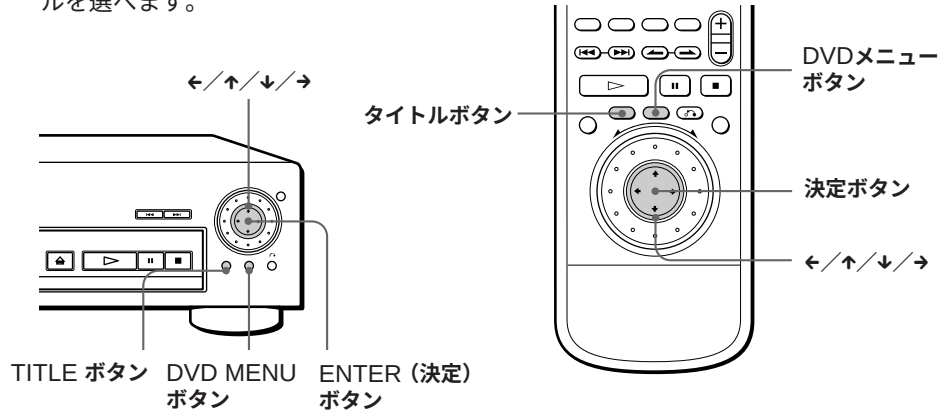
▷を押す。

ご注意

- DVDによってはタイトルを選ぶことが禁止されている場合があります。
- DVDによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」または「タイトル」と表示しているものがあります。また決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

メニューを使って操作する(タイトルメニュー)

DVDには、複数の映像や曲が記録されたものがあります。これをタイトルといいます。このようなDVDを再生するときは、タイトルメニューで好きなタイトルを選べます。



タイトル/TITLEボタンを押す。

タイトルメニューが表示されます。

再生したい タイトルを←/↑/↓/→で選ぶ。

(DVDによってはリモコンの数字ボタンでタイトルを選べるものもあります。)

決定ボタンを押す。

選んだタイトルの再生が始まります。



DVDメニューで表示される言語を変えるときは
SET UP (設定) 画面の「言語設定」で変更できます。詳しくは37ページをご覧ください。

ご注意

DVDによっては「DVDメニュー」のことを「メニュー」と表示しているものがあります。

ディスクの内容を選ぶ(DVDメニュー)

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをDVDメニューで選べます。

DVDメニューボタンを押す。

DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。

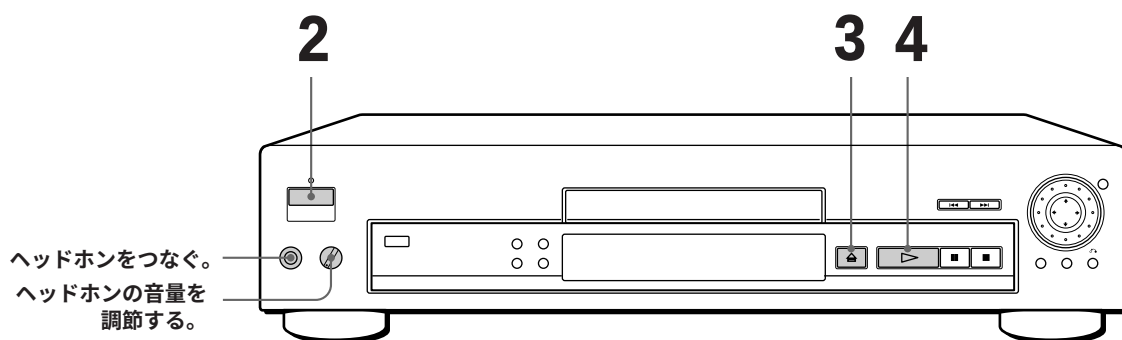
選びたい 項目を←/↑/↓/→で選ぶ。

(DVDによってはリモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。)

別の項目を変更したいときは、手順2を繰り返す。

決定ボタンを押す。

CD/ビデオCDを再生する



- DVDの再生については14ページをご覧ください。
(操作方法が異なります。)



リモコンでも電源を入れることができます。

本体前面のPOWERスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。



メニュー画面が表示されたときは

ビデオCDによっては手順4でテレビ画面にメニューが表示される場合があります。そのときは、表示されたメニュー画面(選択画面)を使って、対話形式で再生していきます(PBC再生)。PBC再生の操作のしかたについては、21ページをご覧ください。

ご注意

- 一時停止中、15分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスクリーンセーバーが作動します。▶を押すとスクリーンセーバーが消えます。
- 停止中、30分以上本体またはリモコンを操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

POWERスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

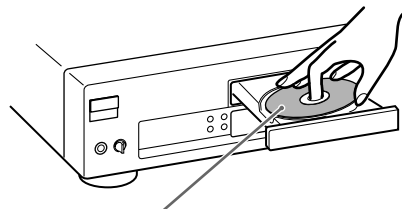
▶を押す。

ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



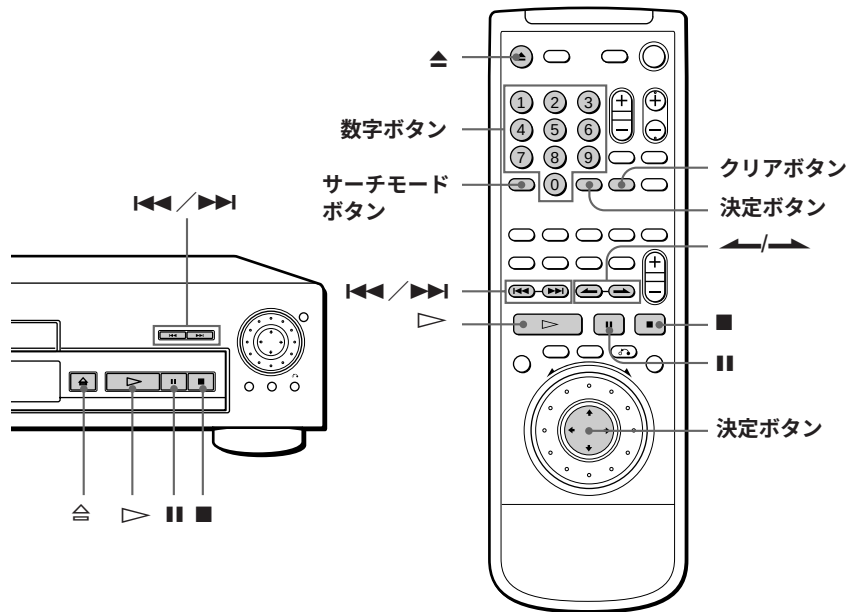
文字の書いてある面を上

ディスクによっては、異なる操作や禁止されている操作がありますので、再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。

再生を止めた場所のつづきから再生できます。CD/ビデオCDの最初から再生したいときは29ページをご覧ください。



トラック/インデックス/シーンとは？

9ページをご覧ください。



好きな場所を探す (サーチ) 方法を切り換えるには

サーチモードボタンを押します。ビデオCDでは、押すたびに「シーンサーチ」「トラックサーチ」「ビデオインデックスサーチ」が表示されます。CDでは「トラックサーチ」のみです。

ご注意

- ビデオCDによっては、選んだシーンから再生できない場合があります。このときは、停止中はシーン1から、再生中はもともと見ていたシーンに戻ります。
- ビデオCDによっては、選んだシーンの映像が出ないことがあります。

その他の操作

こんなときは	このボタンを押す
止める	■
途中で止める	
途中で止めたあと、つづきを再生する	または▷
再生中に映像や曲を進める	▶▶
再生中に映像や曲を戻す	◀◀
再生する映像や曲を選ぶ	数字ボタンでトラック番号を選び、決定ボタン (または▷)
再生するインデックスを選ぶ (ビデオCDでは再生時のみ)	➡ (再生方向) または ◀ (逆方向)
再生するシーンを選ぶ (ビデオCDのPBC対応ディスクの停止中またはPBC再生時のみ)	- 画面に「シーンサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを数回押す - 数字ボタンでシーン番号を入力し、決定ボタン (または▷) (再生中のシーン番号は画面表示ボタンを押すとテレビ画面左上に表示されます)
ディスクを取り出す	▲

数字ボタンの入力を間違えたときは

クリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押す。

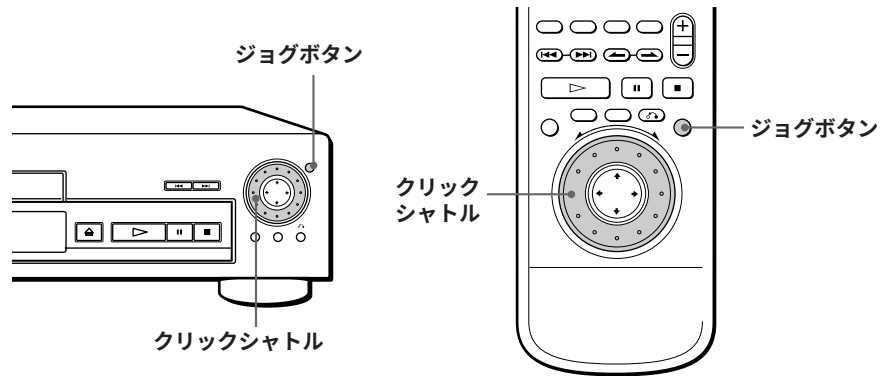
VIDEO
CD

CD

ここだけ読んでも使えます

速さを変えて再生する/コマ送りする

クリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生したりコマ送りすることができます。ジョグボタンを押すたびに、ジョグモードとシャトルモードが切り換わります。



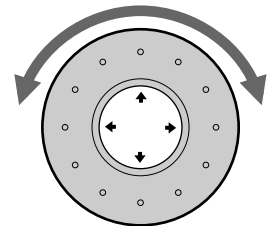
ご注意

- ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。
- ビデオCDでは変速再生のときは音は出ません。

■ 速さを変えて再生する (シャトルモード)

クリックシャトルを回す。
回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。

早送り2▶▶ (早送り1より速い)
↓
早送り1▶▶
↓
×2▶ (約2倍速)
↓
再生▶ (通常の再生)
↓
スロー1◀◀ (－ビデオCDのみ)
↓
スロー2◀◀ (スロー1より遅い－ビデオCDのみ)
↓
一時停止⏸
↓
早戻し1◀◀
↓
早戻し2◀◀ (早戻し1より速い)



すばやく回すと早送り2▶▶/早戻し2◀◀になります。

ご注意

- ジョグボタンはすぐ隣のクリックシャトルがジョグモードのときだけ点灯します。たとえ本体のジョグボタンが点灯していても、リモコンのジョグボタンが点灯していなければリモコンのクリックシャトルはシャトルモードのままです。
- ジョグボタンを押してからクリックシャトルに触れないで20秒たつと、リモコンはシャトルモードに戻ります。本体ではジョグモードのままです。

■ 速さを変えてコマ送りする (ジョグモード) (ビデオCDのみ)

- 1 ジョグボタンを押す。
ジョグモードではジョグボタンが点灯します。本体のジョグボタンを押したときは一時停止になります。
- 2 クリックシャトルを回す。

クリックシャトルを回す速さに応じて再生方向のみに、コマ送りされます。
ある程度以上一定の速さになると、スローまたはふつうの再生になります。

■ ふつうの再生に戻す

▷を押す。



PBC機能を使わないで再生するとき

次の2つの方法があります。

- 停止中、◀◀または▶▶を押して再生したいトラックを選んでから▷または決定ボタンを押す。
- 停止中、リモコンの数字ボタンで再生したいトラック番号を押してから▷または決定ボタンを押す。

画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、ふつうの再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

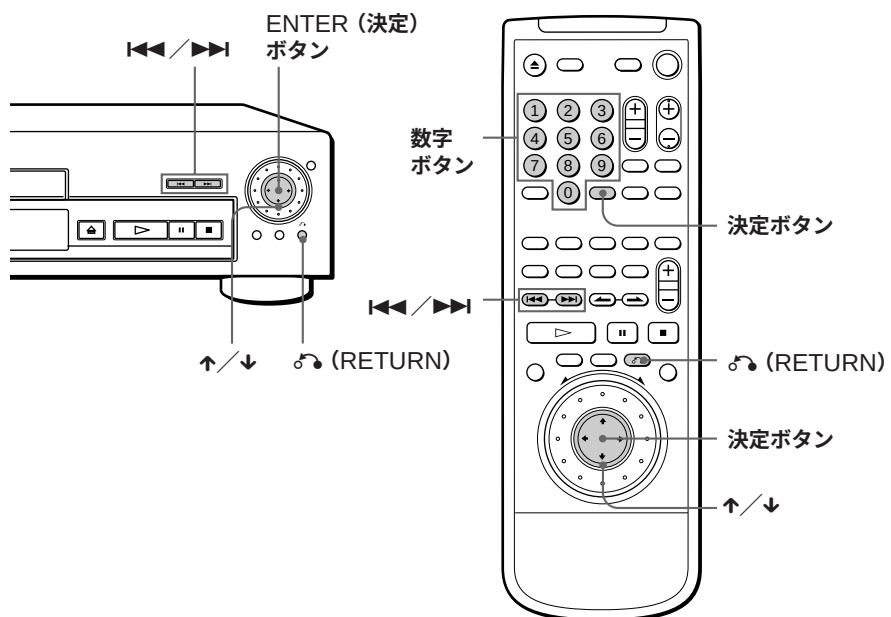
PBC再生に戻すには、■を押して再生を止めたあと、もう1度■を押してから▷を押して再生を始めます。

プレイバックコントロール機能を使う（PBC再生）（ビデオCDのみ）

PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）では、PBC（プレイバックコントロール）機能を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを楽しめます。

PBC再生とは、PBC機能でテレビ画面に表示される選択用のメニュー画面を使って、対話形式で再生を進めていくことです。

本機では、数字ボタンと、決定、◀◀、▶▶、↻（リターン）、↑/↓ボタンを使って、PBC再生を進めていきます。操作の方法はビデオCDによっても異なる場合がありますので、ビデオCDに付属の説明書をご覧ください。



ご注意

ビデオCDによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

- 1 「ビデオCDを再生する」（18ページ）の手順1から手順4を行って、PBC対応ビデオCDの再生を始める。
- 2 選択用のメニュー画面の中で行いたい（再生したい）項目の番号を選ぶ。
↑/↓ボタンで項目の番号に合わせるか、リモコンの数字ボタンで項目の番号の数字ボタンを押します。
- 3 決定ボタンを押す。
- 4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、対話形式で再生を進める。

選択用のメニュー画面に戻るには

一般的なPBC対応ビデオCDでは、↻（リターン）または◀◀、▶▶のいずれかのボタンを押す。

テレビ画面表示の見かた



現在の動作状態や入っているディスクの情報を、停止中または再生中に映像に重ねてテレビ画面に表示できます。

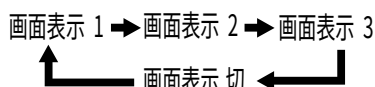


画面表示ボタンを押す。

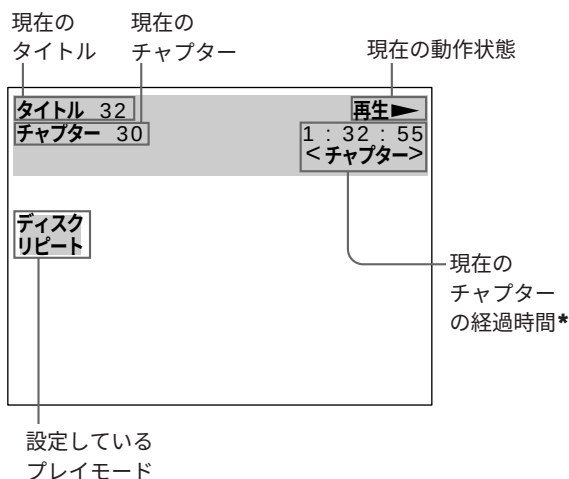
DVDを再生または停止中のとき



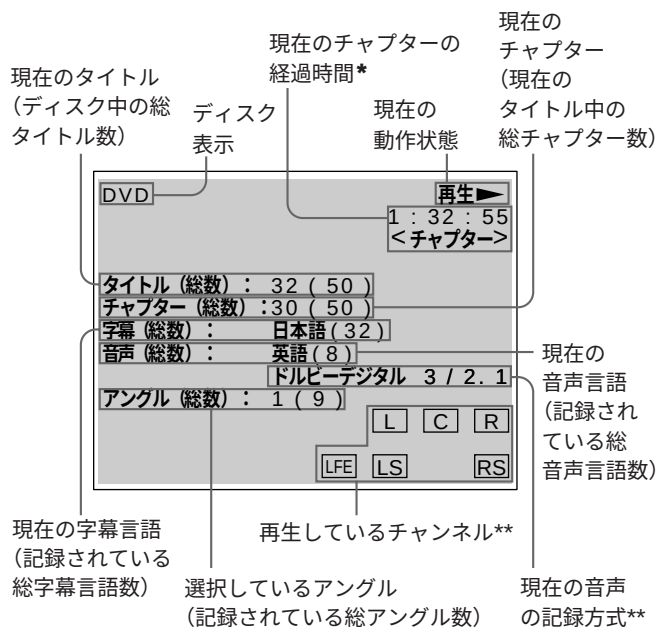
押すたびに次のように表示が切り換わります。



■ 画面表示 1



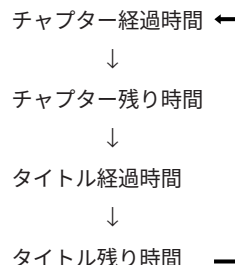
■ 画面表示 2



ご注意

DVDにより表示されない項目もあります。

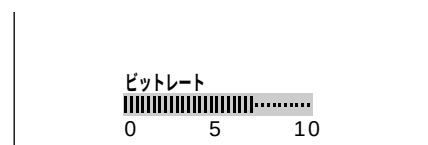
*画面表示1、2では時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



**くわしくは45ページをご覧ください。

■ 画面表示 3

再生中に、再生している画像のおよそのビットレートを、Mbps単位で常に表示します。



ビットレートとは？

DVDに記録されている画像の1秒あたりの情報量を示す値です。ビットレートが大きいくほど情報量が多くなりますが、必ずしも画質がよいとは限りません。

■ 画面表示 切

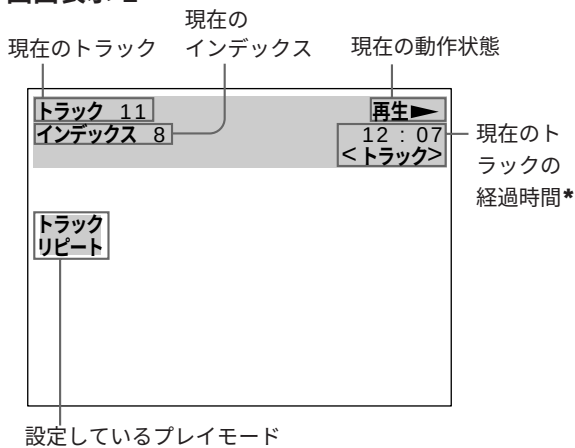
何も表示しません。(メッセージなどは表示されます。)

CD/ビデオCDを再生または停止中のとき

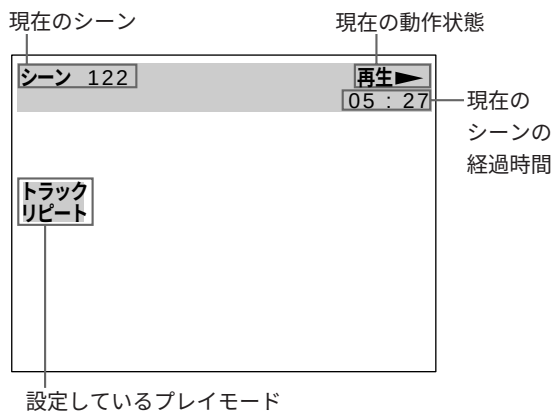
押すたびに次のように表示が切り換わります。

画面表示 1 → 画面表示 2 → 画面表示 切

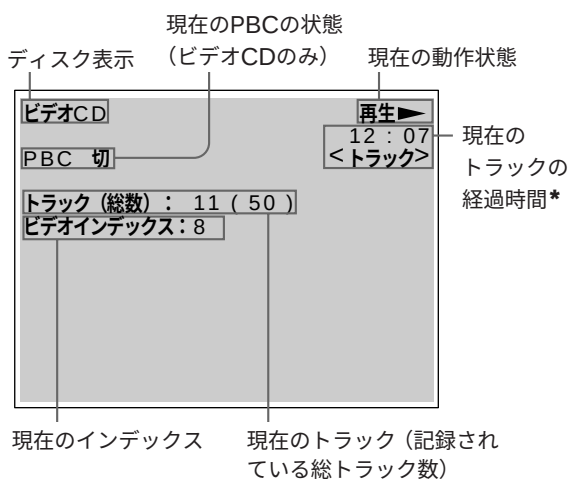
■ 画面表示 1



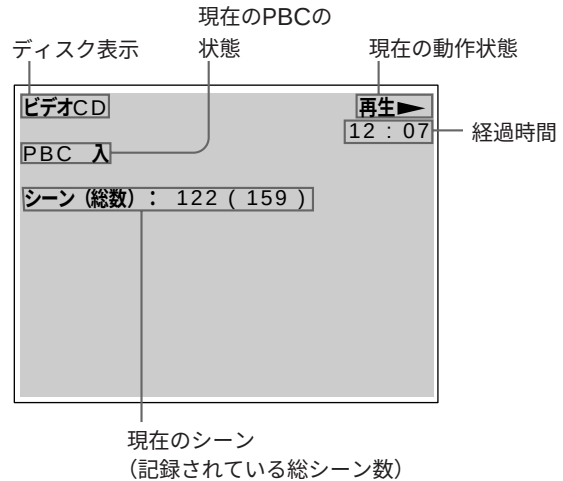
• PBC再生のとき (ビデオCDのみ)



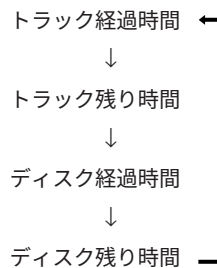
■ 画面表示 2



• PBC再生のとき (ビデオCDのみ)



*時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



なお、シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク残り時間は表示されません。

■ 画面表示 切

何も表示しません。(メッセージなどは表示されません。)

表示窓の見かた

VIDEO CD CD

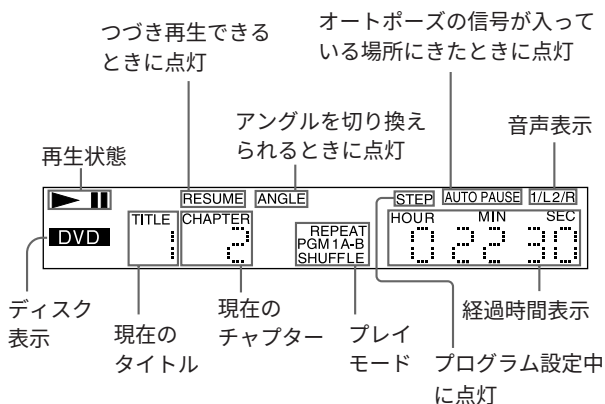
DVD

表示窓を使って、ディスクの残り時間や、DVD内の全タイトル数、CD/ビデオCDの全トラック数などを調べることができます。



DVDを再生中のとき

再生中の表示窓



再生の残り時間を調べる

再生中、リモコンの時間表示ボタンを押す。押すたびに再生中のタイトルまたはチャプターの残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

再生中のチャプター番号と経過時間



再生中のチャプターの残り時間



再生中のタイトル番号と経過時間



再生中のタイトルの残り時間



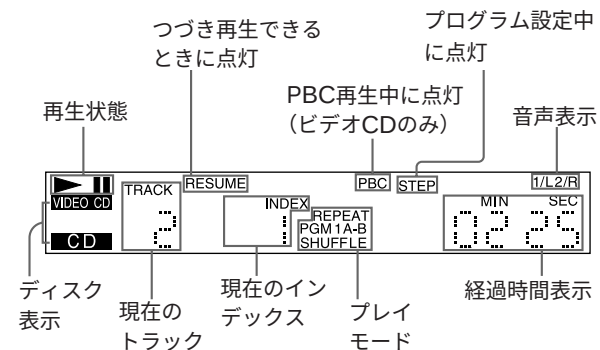
ご注意

- DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合があります。
- シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

CD/ビデオCDを再生中のとき

VIDEO CD CD

再生中の表示窓



ビデオCDでPBC再生しているときは

トラック番号、インデックス番号の代わりに再生中のシーン番号が表示されます。このとき時間表示ボタンを押しても表示窓は変化しません。

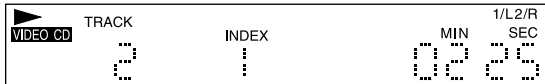
■ 再生の残り時間を調べる

再生中、時間表示ボタンを押す。

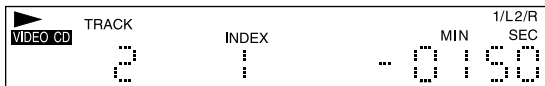
押すたびに再生中のトラックまたはディスク全体の残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

ビデオCDでPBC再生しているときは、表示窓は変化しません。

再生中のトラック番号と経過時間



再生中のトラックの残り時間



ディスク経過時間



ディスク全体の残り時間



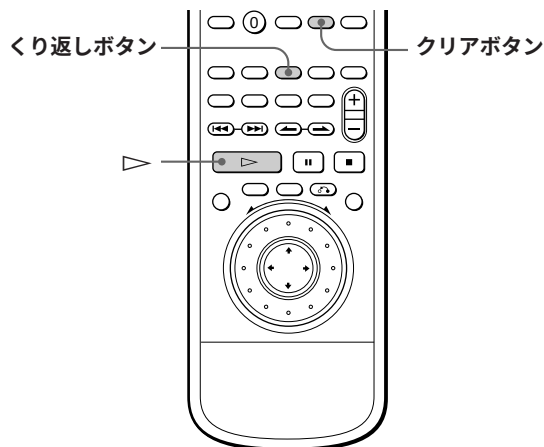
ご注意

シャッフル再生、プログラム再生およびビデオCDのPBC再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

繰り返し再生する

(リピート再生)

ディスク全体(全タイトル/全トラック)または1つのタイトル/チャプター/トラックだけ、1つのタイトル/チャプター/トラック内の再生したい部分だけを繰り返し再生できます。



ディスク全体(全タイトル/全トラック)を繰り返し再生する **DVD** **VIDEO CD** **CD**

シャッフルまたはプログラム再生など曲順を変えたときは、その順で繰り返します。
ビデオCDのPBC再生(21ページ)では、繰り返し再生できません。またDVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

再生中、くり返しボタンを押す。

画面に「ディスクリピート」が表示され、次のように繰り返し再生できます。リピート中は表示窓に「REPEAT」が点灯します。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生 (14、18ページ)	全タイトル/全トラックを順に
シャッフル再生 (27ページ)	全タイトル/全トラックを繰り返す たびに順番を変えて
プログラム再生 (28ページ)	プログラムしたタイトル/チャプ ター/トラック順に

全タイトル/全トラックのリピート再生をやめるときはクリアボタンを押します。

1タイトルまたは1チャプターだけを繰り返し再生する **DVD**

ふつうの再生(14ページ)のときのみ、1つのタイトルまたはチャプターだけを繰り返し再生できます。DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

■ 1タイトルを繰り返し再生

繰り返ししたいタイトルを再生中、画面に「タイトルリピート」が出るまでくり返しボタンを数回押す。再生中のタイトルが繰り返し再生できます。

■ 1チャプターを繰り返し再生

繰り返ししたいチャプターの再生中、画面左上に「チャプターリピート」が出るまでくり返しボタンを数回押す。再生中のチャプターが繰り返し再生できます。

このとき、表示窓に「REPEAT 1」が点灯します。

チャプターリピートのときは
「チャプター」と表示されます



1タイトルまたは1チャプターだけのリピート再生をやめるときは
クリアボタンを押します。

1トラックだけを繰り返し再生する **VIDEO CD** **CD**

ふつうの再生(18ページ)のときのみ、1つのトラックだけを繰り返し再生できます。

繰り返ししたいトラックを再生中、画面に「トラックリピート」が表示されるまでくり返しボタンを数回押す。



表示窓に「REPEAT 1」が点灯し、再生中のトラックが繰り返し再生できます。

ご注意

電源をOFFにすると、ふつうの再生に戻ります。

1トラックだけのリピート再生をやめるときは
クリアボタンを押します。

再生したい部分だけを繰り返す

(A↔Bリピート)   

再生したい部分を指定して、繰り返し再生できます。
語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。
ビデオCDのPBC再生(21ページ)では、動画の再生中にだけできる操作です(動画の部分だけで繰り返す部分を指定できます)。
DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

1 再生中に繰り返す部分の始点(A点)でA↔Bボタンを押す。

A点が設定されます。画面に「A-B リピート」が表示され、「B」の部分が点滅します。



表示窓の「REPEAT A-B」も点灯し、「B」の部分が点滅します。

2 繰り返す部分の終点(B点)でもう1度A↔Bボタンを押す。

画面の「REPEAT A-B」が消え、指定した部分をくり返します。

A↔Bリピート中は表示窓の「REPEAT A-B」が点灯します。

A↔Bリピートをやめるときは
クリアボタンを押します。

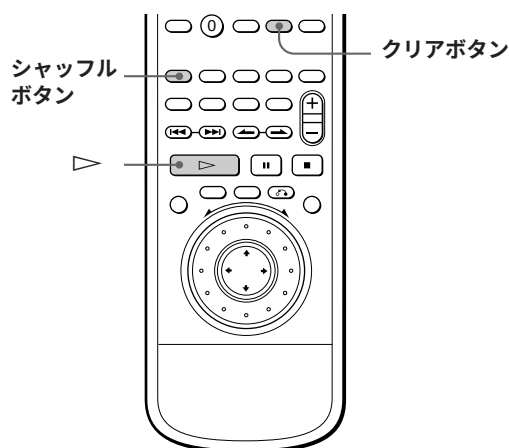
ご注意

- 次のときには、設定したA↔Bリピートは消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき
- A↔Bリピートを設定すると、シャッフル再生やプログラム再生は解除されます。
- DVD、ビデオCDの場面によっては、A↔Bリピートの設定ができない場合があります。

順不同に再生する

(シャッフル再生)   

ディスク上のタイトル番号やトラック番号に関係なく、本機がランダム(無作為)に順番を選んで、ひと通り再生します。



1 シャッフルボタンを押す。

2 ▷を押す。

シャッフル再生が始まります。
(再生中は手順1のみでシャッフル再生が始まります。)

シャッフル再生からふつうの再生に戻るときは
クリアボタンを押します。

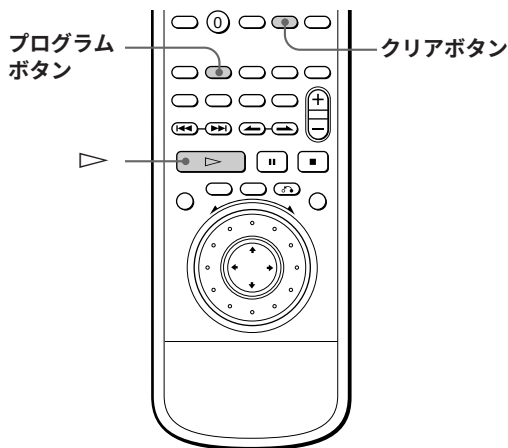
ご注意

- 以下の場合、次に再生するときふつうの再生に戻ります。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき
- DVDによってはシャッフル再生ができない場合があります。
- DVDではタイトルのみのシャッフル再生になります。

好きな順に再生する

(プログラム再生) DVD VIDEO CD

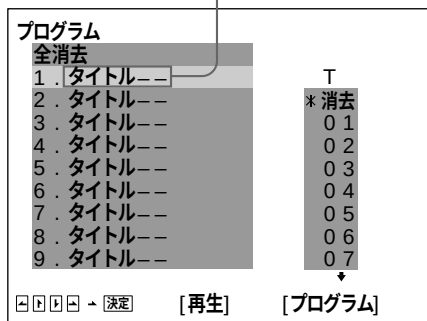
タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生できます。最大99まで、再生したい順にプログラムできます。



1 プログラムボタンを押す。

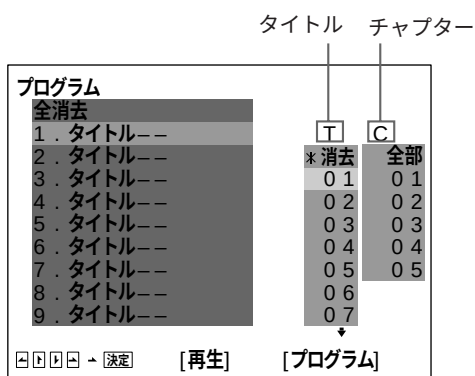
プログラム設定画面が出る。

CD/ビデオCDではトラックと表示されます



2 → を押す。

プログラム01が選ばれる。



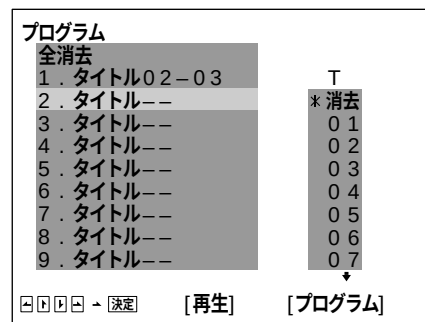
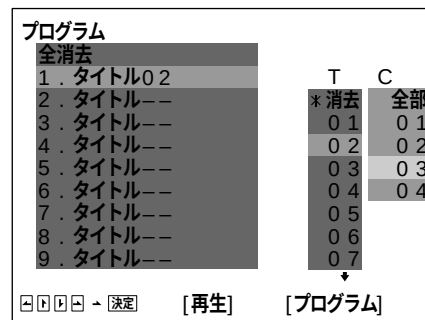
3

再生したいタイトル/チャプター/トラックを ↑/↓ で選んで、決定ボタンを押す。

たとえばタイトルまたはトラック2を選びます。(数字ボタンで選んで、決定ボタンを押して選択することもできます。このとき選択した番号が画面に表示されます。)

■ DVDのとき

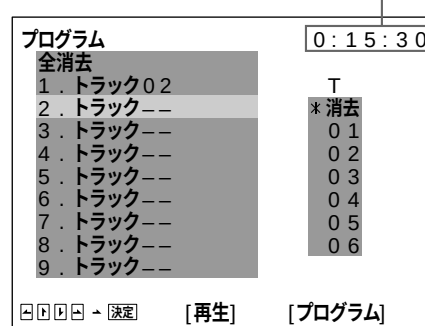
タイトルとチャプターの両方が記録されている場合は、タイトルを選んでから、チャプターを選択する。



■ CD/ビデオCDのとき

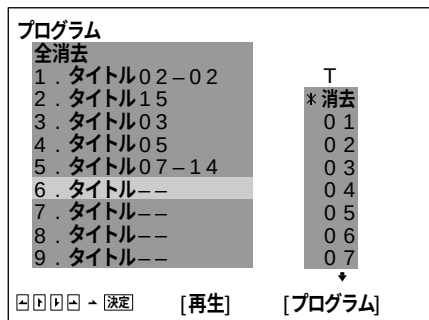
ディスクに記録されているトラックの中から再生するトラックを選ぶ。

プログラムしたトラックの総時間



4 他に再生するタイトル/チャプター/トラックを設定したいときは、手順3を繰り返す。

選択したタイトル/チャプター/トラックがプログラム設定画面の 02、03、... に順に表示される。



5 ▷を押す。

設定した順に再生が始まります。

プログラム再生からふつうの再生に戻すときはクリアボタンを押します。

プログラムの設定をやめるときは

プログラムボタンを押します。

プログラムの設定を変更するとき

手順2で、↑/↓を使って変更したいプログラム番号を選びます。そのあと手順3の操作で新しい設定を入力します。

設定したプログラムを消すには

すべて消すときは、手順2で「全消去」を選びます。ひとつだけ消すときは、手順2で↑/↓を使って消したいプログラムを選んでクリアボタンを押すか、手順3で「消去」を選びます。

💡 プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。

▷を押すと、同じプログラムをもう1度再生します。

💡 設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます。

プログラムを再生中に、くり返しボタンやシャッフルボタンを押してください。

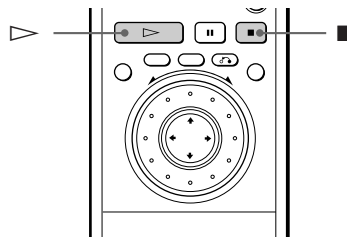
ご注意

- ・タイトル/チャプター/トラックはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。
- ・次のときには設定したプログラムは消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき
- ・DVDによってはプログラム再生ができない場合があります。
- ・ビデオCDのPBC再生時は、再生を止めてからプログラムを設定してください。

再生を止めたあと、そのつづきから再生する

(つづき再生) DVD VIDEO CD

再生を止めたあと、表示窓の「RESUME」が点灯していると、本機が再生を止めた場所を覚えています。このときは、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、つづき再生は電源を切っても使えます。



1 ディスクの再生中、■を押して、再生を止める。

表示窓に「RESUME」が点灯します。また、テレビ画面には「次に再生するときはここから再生します」と表示されます。

「RESUME」が点灯しないときはつづき再生はできません。

2 ▷を押す。

手順1で再生を止めた場所から、再生が始まります。

💡 ディスクを最初から再生したいときは

停止中に「RESUME」が点灯しているとき、■を押して「RESUME」表示を消してから、▷を押します。

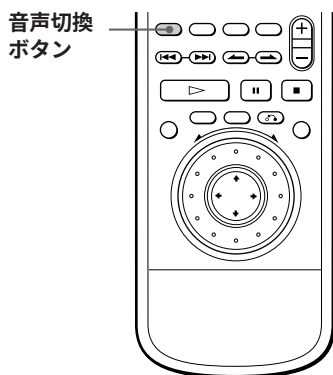
ご注意

- ・DVDによってはつづき再生ができない場合があります。
- ・シャッフルまたはプログラム再生ではできません。
- ・再生を止めた場所によっては、つづきからの再生がずれて始まる場合があります。
- ・次のときには場所の記憶は消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源コードを抜いたとき
 - プレイモードを変えたとき
 - タイトルやチャプター、トラックを選んでから、再生を始めたとき
 - SET UP (設定) 画面の「言語設定」の「DVDメニュー言語」、「音声言語」、「字幕言語」の設定を変更したとき
 - SET UP (設定) 画面の「初期設定1」の「TVタイプ」、「視聴年齢制限」の設定を変更したとき

音声を切り換える

DVD VIDEO CD

DVDの中には、複数の言語（マルチランゲージ）で音声記録されているものがあります。このようなDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。またカラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消せるものもあります。このときの音声はモノラルです。



再生中、音声切換ボタンを押す。

押すたびに、表示とスピーカーから聞こえる音声が切り換わります。

■ DVDのとき

音声1 → 音声2 → ...

↑

音声 1 : 日本語

■ CD/ビデオCDのとき

1/L : 左チャンネルの音

↓

2/R : 右チャンネルの音

↓

ステレオ (1/L 2/R) : 通常のステレオ再生

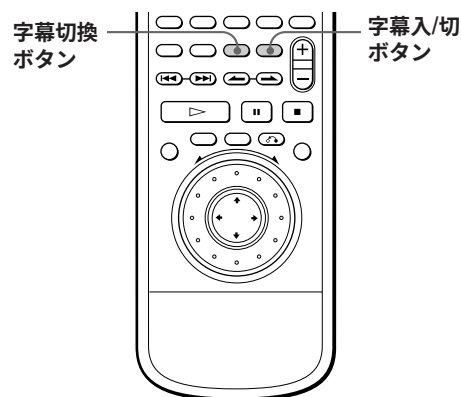
ご注意

- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- CD/ビデオCDのときは、電源を切ったりディスクトレイを開閉すると通常のステレオ再生に戻ります。
- DVDではタイトルを変えたり、ディスクトレイを開閉すると、音声切り換わる場合があります。
- 4桁の数字で言語が表示されるときは「言語コード一覧表」(56ページ)を参照してください。

字幕を表示する

DVD

DVDの中には、字幕が記録されているものがあります。この字幕は再生中であれば好きなときに表示したり消したりできます。またDVDに複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中の好きなときに切り換えられます。



字幕を表示する

再生中、字幕入/切ボタンを押す。

押すたびに画面の字幕が切り替わります。

表示されている字幕を消すときは

もう1度字幕入/切ボタンを押します。

ご注意

- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示させることはできません。
- DVDによっては字幕が記録されていても、字幕表示を禁止しているものもあります。
- DVDによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。
- 4桁の数字で言語が表示されるときは「言語コード一覧表」(56ページ)を参照してください。

字幕を切り換える

再生中、字幕切換ボタンを押す。

押すたびに画面の字幕が切り替わります。

字幕1 → 字幕2 → ...



字幕入 1 : 日本語

ご注意

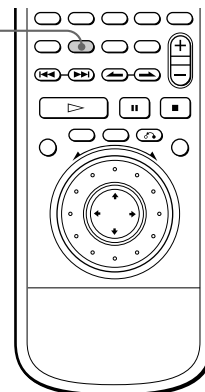
- 記録されている字幕の言語の種類や数はDVDによって異なります。
- DVDによっては複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- タイトルを変えたり、ディスクトレイを開閉すると、字幕が切り換わる場合があります。

アングルを切り換える

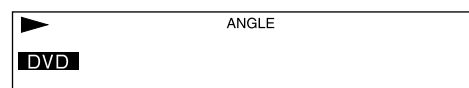
DVD

DVDの中には、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があります。このようなDVDでは、再生中であれば好きなアングルに切り換えながら見られます。

アングル切換
ボタン



再生中、表示窓に「ANGLE」と表示されているときにアングル切換ボタンを押す。



押すたびに、再生中の場面のアングルが変わります。

アングル1 → アングル2 → ...



アングル 1



あらかじめアングルを指定しておくことができます。

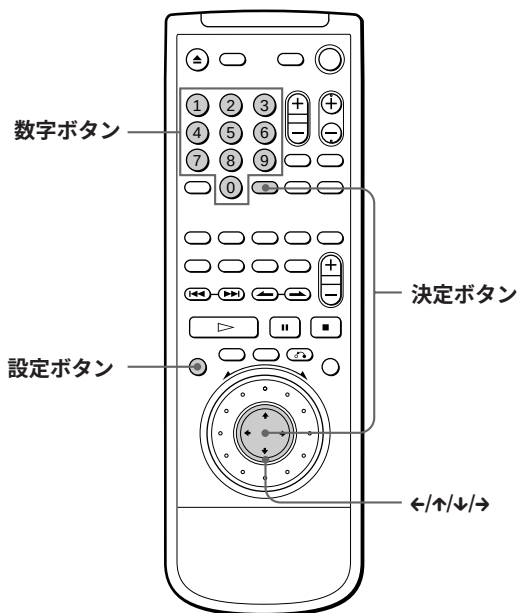
表示窓に「ANGLE」と表示されていないときにアングル切換ボタンを押しておけば、アングルを切り換えられる場面で自動的にアングルが切り換わります。

ご注意

- 切り換えられるアングルの数は、DVDによっても場面によっても異なります。DVDのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

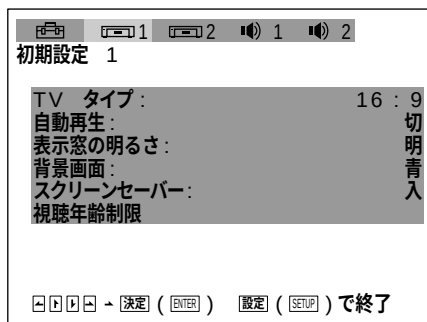
年齢による視聴制限をする DVD

DVDの中には、見る人の年齢によって視聴を制限できるものがあります。本機には、この視聴制限レベルを設定しておく機能があります。



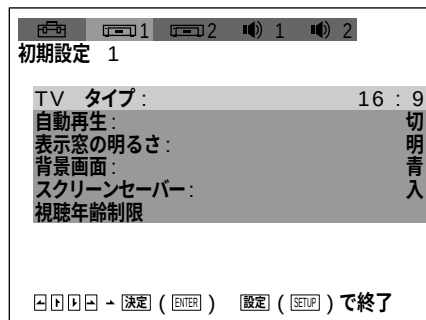
1 停止中に、設定ボタンを押す。

SET UP（設定）画面が出る。



2

画面の上の項目から</>で「1」を選んで、↓または決定ボタンを押す。

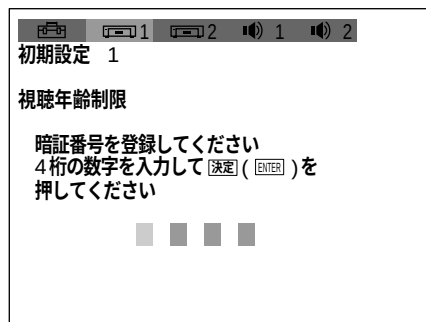


3

↑/↓で「視聴年齢制限」を選んで、決定ボタンを押す。

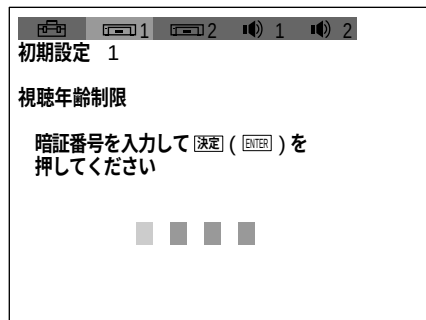
■ 暗証番号がまだ登録されていないとき

「視聴年齢制限」の暗証番号入力画面が出る。



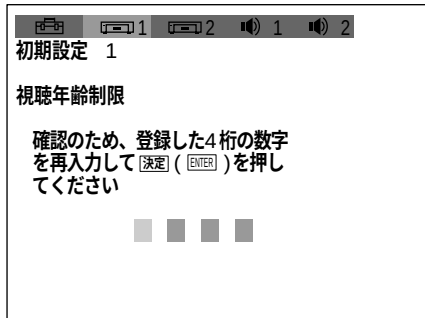
■ 暗証番号がすでに登録されているとき

「視聴年齢制限」の暗証番号確認画面が出るので、手順4をとばして手順5に進む。



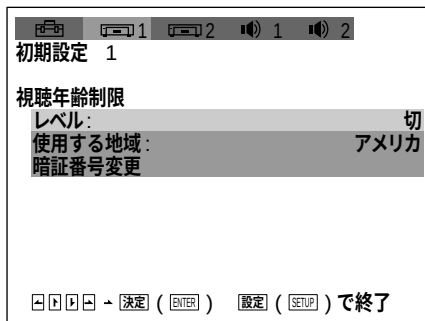
4 設定したい4けたの暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと数字は「*」に変わり、暗証番号確認の画面になる。

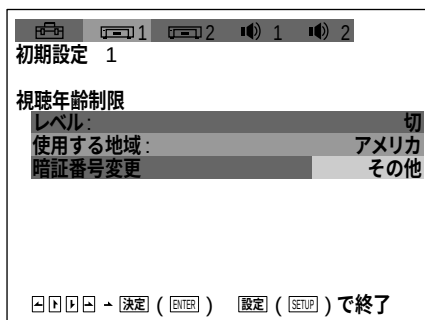


5 確認のため、設定した暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

視聴制限のレベル設定と暗証番号の変更の画面が出る。

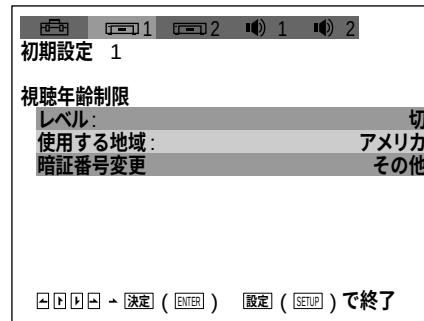


6 ↑/↓ で「使用する地域」を選んで、→を押す。

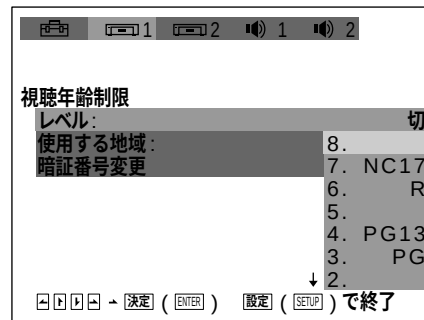


7 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選んで、決定を押す。

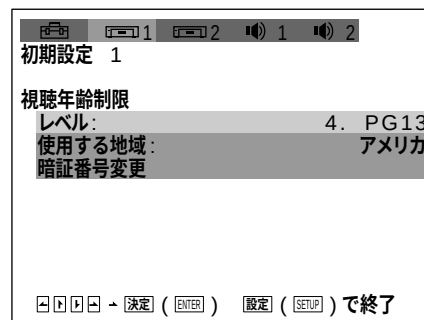
「その他」を選んだときは、次ページの表を見て地域コードを数字ボタンで入力する。



8 ↑/↓ で「レベル」を選んで→を押す。



9 ↑/↓ で設定するレベルを選んで、決定ボタンを押す。



レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

通常の画面に戻すときは
設定ボタンを押します。

暗証番号を設定したあとで、視聴年齢制限を解除して
DVDを再生するときは
手順9で「切」を選んで再生します。

暗証番号を変更したいときは

手順5で **↑/↓** を使って「暗証番号変更」を選択して、**→** または
決定ボタンを押すと、暗証番号変更の画面が出ます。このあ
ともう1度手順4から手順5の操作をすれば、新しい暗証番号
が登録されます。

☼ 設定した暗証番号を忘れてしまったときは

手順4で暗証番号の代わりに数字「199703」を入力しま
す。これにより以前の暗証番号が消えます。暗証番号を
再度設定するときは、もう1度手順4からやり直してくだ
さい。

ご注意

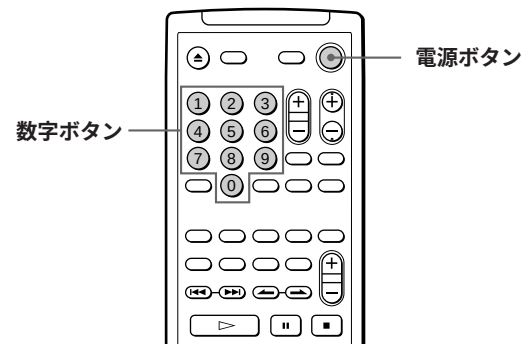
- ・ 視聴年齢制限がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生
は制限できません。
- ・ 暗証番号の設定をしないと、設定値の変更ができません。
- ・ DVDによっては、再生中に視聴制限レベルの変更を要求さ
れることがあります。このときは暗証番号を入力してレベ
ルを変更してください。なお、停止すると元のレベルに戻
ります。

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
イギリス	2184	中国	2092
イタリア	2254	デンマーク	2115
インドネシア	2238	ドイツ	2109
オーストリア	2046	日本	2276
オランダ	2376	ノルウェー	2379
カナダ	2079	フィリピン	2424
シンガポール	2501	フィンランド	2165
スイス	2086	フランス	2174
スウェーデン	2499	ベルギー	2057
スペイン	2149	香港	2219
タイ	2528	マレーシア	2363
台湾	2543		

付属のリモコンでテレビ やアンプを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせ
ると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、
電源を操作できます。お買い上げ時はソニー製の **■**
マーク付きテレビを操作できるように設定されていま
す。

またソニー製のアンプに本機をつないでいるときは、
本機のリモコンでアンプの入力がCD/DVDプレーヤー
に切り換わるように設定することもできます。



リモコンで各社のテレビを操作する

リモコンの電源ボタンを押したま
ま、テレビのメーカー番号（2桁）を
数字ボタンで入力する。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01（お買い上げ時の設定）、12*
松下電器	02、13**
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機	07、15
シャープ	08、16

* 01で操作できないとき、12にしてください。

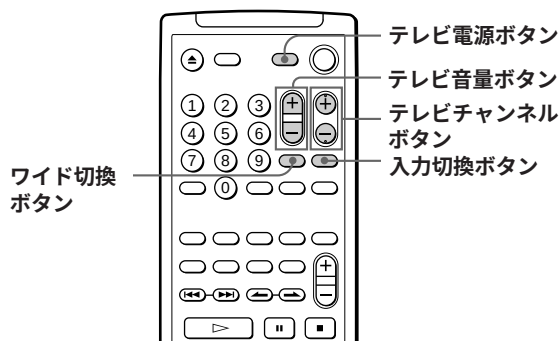
** 02で操作できないとき、13にしてください。

テレビのメーカー	メーカー番号
NEC	09
パイオニア	10
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
アイワ	17
三星電子 (SAMSUNG)	18

ご注意

- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えてしまいます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号は自動的に01 (ソニー)に戻ります。メーカー番号をもう1度合わせ直してください。

以下のボタンでテレビの操作ができるようになります。



押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入／切する。
入力切換	テレビの入力を切り換える。
ワイド切換	テレビのワイドモードを切り換える。
テレビ音量	テレビの音量を調節する。
テレビチャンネル	テレビのチャンネルを変える。

ご注意

テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。

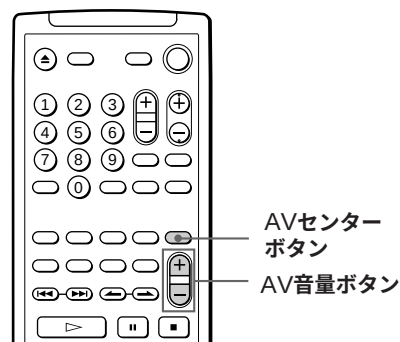
ソニー製のAVアンプを操作する

リモコンの電源ボタンを押したまま、本機をつないでいるAVアンプの端子名を数字ボタンで入力する*。

アンプ端子名	入力する番号
VIDEO 1	91
VIDEO 2	92
VIDEO 3	93
AUX 1	94
LD/DVD	95 (お買い上げ時の設定)
AC-3	96
TV	97

* ソニーミニハイファイコンポーネントシステムのアンプにつないでいるときは「98」を入力します。

本機のリモコンのAVセンターボタンを押すと、AVアンプの入力が自動的にCD/DVDプレーヤーに切り換わります**。AV音量ボタンでAVアンプの音量も変えられます。



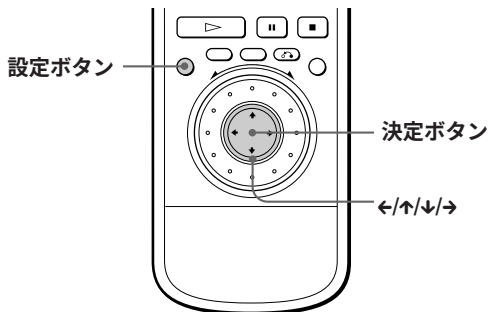
**ソニーミニハイファイコンポーネントシステムのアンプにつないでいるときは、AVセンターボタンをくり返し押して、アンプの入力を切り換えます。

ご注意

接続する機種によっては入力が切り換わらない場合があります。

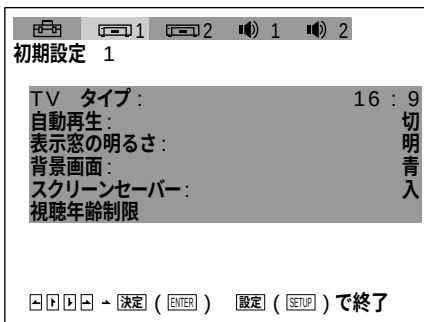
SET UP (設定) 画面での設定/調整のしかた

SET UP (設定) 画面を使って、初期設定や画質や音質の調整、さまざまな出力の設定などができます。またDVDを再生するときの、字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限の設定などもできます。SET UP (設定) 画面の項目の詳しい内容は37～39ページをご覧ください。なお、「5.1チャンネル出力設定1、2」については42ページ～45ページをご覧ください。SET UP (設定) 画面の項目の一覧は55ページをご覧ください。

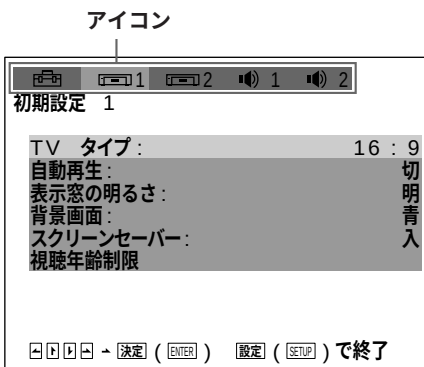


1 設定ボタンを押す。

SET UP (設定) 画面が出る。

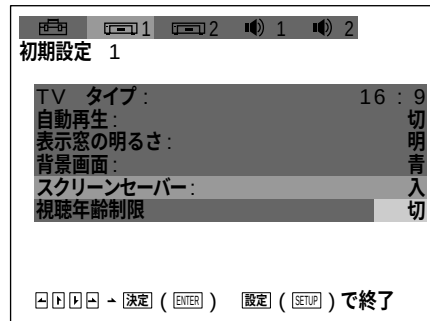


2 ←/→ でアイコンを選んで、↓ または決定ボタンを押す。



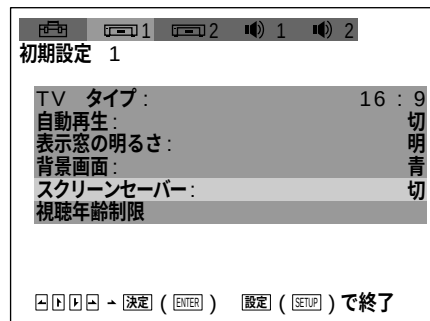
3

↑/↓ で項目を選んで、→ または決定ボタンを押す。



4

↑/↓ で項目を選んで、決定ボタンを押す。



SET UP (設定) 画面の設定を途中でやめるには設定ボタンを押します。

ご注意

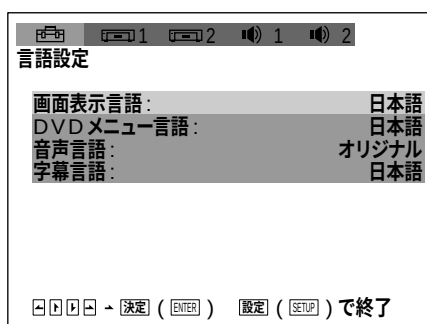
SET UP (設定) 画面の項目には、その中で項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。このような項目について詳しくは、次ページからの各項目の説明に記されている参照ページをご覧ください。

表示言語や音声言語の設定 (言語設定)

設定ボタンを押したあと、 を選びます。
再生するときの表示や音声の言語を設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

ご注意

DVDに記録されていない言語を選んだときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます (「画面表示言語」を除く)。



■ 画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

- 日本語
- ENGLISH

■ DVDメニュー言語

DVDに記録されているDVDメニューの言語を切り換えます。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他➔

「その他➔」を選んだときは、56ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

■ 音声言語

DVDに記録されている音声の言語を切り換えます。

- オリジナル：ディスク内で優先されている言語
- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他➔

「その他➔」を選んだときは、56ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

■ 字幕言語

DVDに記録されている字幕の言語を切り換えます。

- 日本語
- 音声連動*
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他➔

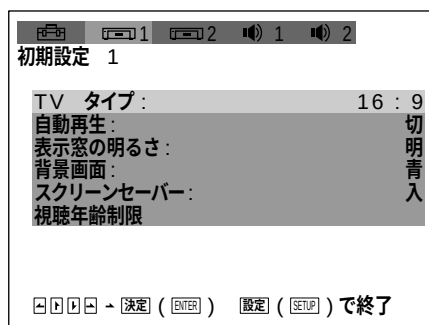
「その他➔」を選んだときは、56ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

* 「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

画像に関する設定

(初期設定1)

設定ボタンを押したあと、1 を選びます。
接続するテレビの形状などを設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

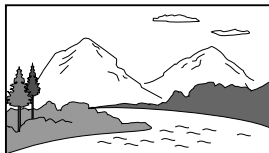


■ TVタイプ

接続するテレビのアスペクト比および通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形を設定します。

- 16:9
ワイドテレビのとき。
- 4:3 レターボックス
通常のテレビで、ワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき。
- 4:3 パンスキャン
通常のテレビに、ワイド画像の一部を自動的にカットして画面全体に表示するとき。

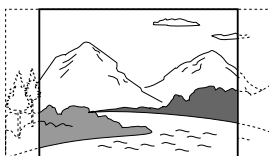
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

DVDによっては「4:3レターボックス」あるいは「4:3パンスキャン」にしても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

■ 自動再生

コンセントを入れたときの動作を設定します。

- 切
「タイマー」、「デモ1」、「デモ2」を使わないで起動する。
- タイマー
電源が入ったとき、自動で再生を始める。別売りのタイマーを使って希望の時刻に再生を始めることができます。
- デモ1
デモンストレーション1を再生する。
- デモ2
デモンストレーション2を再生する。

■ 表示窓の明るさ

本体前面の表示窓の明るさを調整します。

- 明
明るくする。
- 暗
暗くする。
- 消
表示を消す。

■ 背景画面

停止中などの、画面の背景色を設定します。

- 青
画面の背景色を「青」にする。
- 黒
画面の背景色を「黒」にする。

■ スクリーンセーバー

一時停止したままで15分たつと、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。これは画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。

- 入
スクリーンセーバーを使う。
- 切
スクリーンセーバーを使わない。

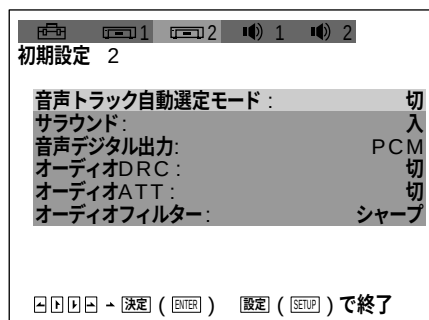
■ 視聴年齢制限

視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。詳しくは32ページをご覧ください。

音声に関する設定

(初期設定2)

設定ボタンを押したあと、 2 を選びます。
再生するときの音の設定を、まわりの条件に合わせて設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ 音声トラック自動選定モード

複数の音声方式が記録されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多いドルビーデジタル (AC-3) 方式の音声を優先して再生するかどうかを設定します。

- 切：優先しない。
- 入：優先する。

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」(37ページ)より優先されるためです。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていて、「入」に設定しても優先されないことがあります。

■ サラウンド*

ドルビーデジタル (AC-3) 方式で記録されているDVDを再生するときの、ダウンミックスの方式を切り換えます。

- 入：ドルビーサラウンド、ドルビープロロジックサラウンドなどに対応しているオーディオ機器に接続して音を出すときは「入」にする。
- 切：通常のオーディオ機器に接続して音を出すときは「切」にする。

*「サラウンド」の設定はLINE OUT (AUDIO 1、2) 端子とDIGITAL OUT (光、同軸) 端子の出力に影響します。

■ 音声デジタル出力

本体後面の DIGITAL OUT 端子から出力する音声信号の方式を切り換えます。

- PCM：ドルビーデジタル (AC-3) デコーダー内蔵でないデジタルオーディオ機器につないで音を出すときは「PCM」にする。このときドルビーデジタル (AC-3) の音声を再生すると、音は出ません。

- ドルビーデジタル/PCM：ドルビーデジタル (AC-3) デコーダーを内蔵したオーディオ機器につないで音を出すときは「ドルビーデジタル/PCM」にする。
- ダウンミックスPCM：ドルビーデジタル (AC-3) の音声を再生すると2chにダウンミックスされます。出力される信号のサラウンド成分の有無は「サラウンド」の設定によって決まります。「ダウンミックスPCM」にしているときは5.1ch出力端子からの音もダウンミックスされます。ドルビーデジタル (AC-3) 本来の音声をお楽しみいただくときは「ダウンミックスPCM」に設定しないでください。

ご注意

「音声デジタル出力」の項目を誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがあります。

■ オーディオDRC

(Dynamic Range Control)

DVDを夜間など音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。この機能は、LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子および5.1 OUTPUT 端子からの出力、「音声デジタル出力」を「PCM」に設定したときのDIGITAL OUT端子の出力にはたります。

- 切：通常は「切」にしておく。
- 入：小さい音までよく聞こえるようにする。

ご注意

DVDによっては効果がないこともあります。

■ オーディオATT

接続する機器に合わせてLINE OUT (AUDIO 1、2) 端子および5.1 OUTPUT端子からの出力を調整します。

- 切：「オーディオATT」を働かせない。
- 入：音が歪まないように出力レベルを低くする。

ご注意

DIGITAL OUT端子からの出力には影響しません。

■ オーディオフィルター

22.05kHz (Fs - サンプリング周波数 - 44.1kHz のとき)、24kHz (Fs 48kHz)、48kHz (Fs 96kHz) 以上の雑音を除去するために使うデジタルフィルターのタイプを設定します。

- シャープ：なめらかな音質で明瞭な音像定位が得られる。通常は「シャープ」にしておきます。
- スロー：雰囲気のあるあたたかい音で奥行き感が得られる。

ご注意

ディスクによっては、効果がわかりにくいことがあります。

ドルビーデジタルサラウンドとは？

DVDにはドルビーデジタル（AC-3）方式で音声記録されているものがあります。ドルビーデジタル（AC-3）方式では、最大5.1chの信号が記録されており、5.1ch入力対応アンプとスピーカーを5（+1*）個用意すれば、劇場のような臨場感をご家庭でお楽しみいただけます。

また本機ではスピーカーが5（+1*）個ない場合でも、信号成分を他のスピーカーに振り分けて出力できるため、より制作者の意図に近い音場が再現できます。さらにソニーが開発したDCS（デジタル・シネマ・サウンド）を用いたVES（バーチャル・エンハンスド・サラウンド）をお楽しみいただくこともできます。VESではフロントスピーカーのみでサラウンドを実現できます。

* サブウーファー

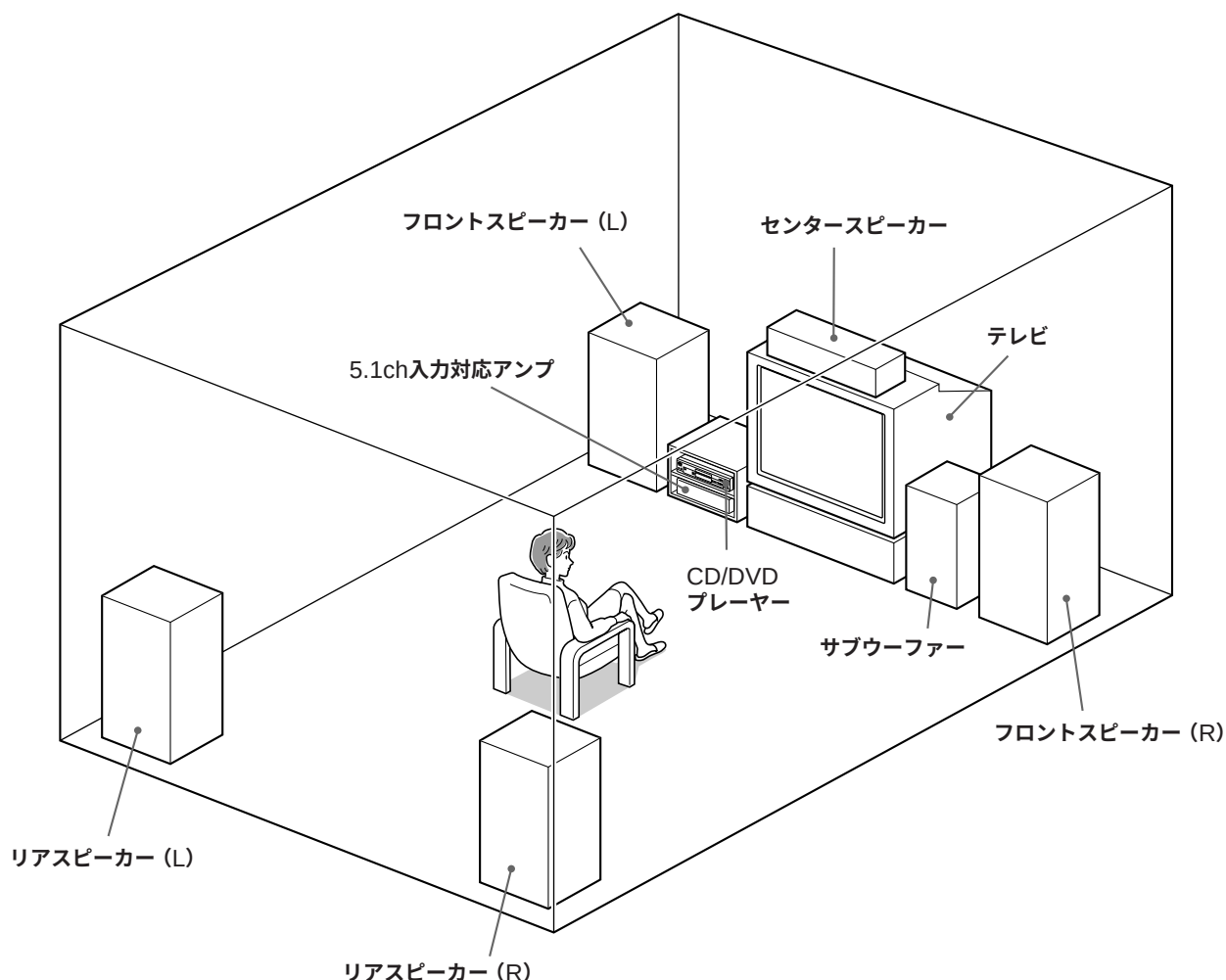
サラウンドシステムの接続と設置をする

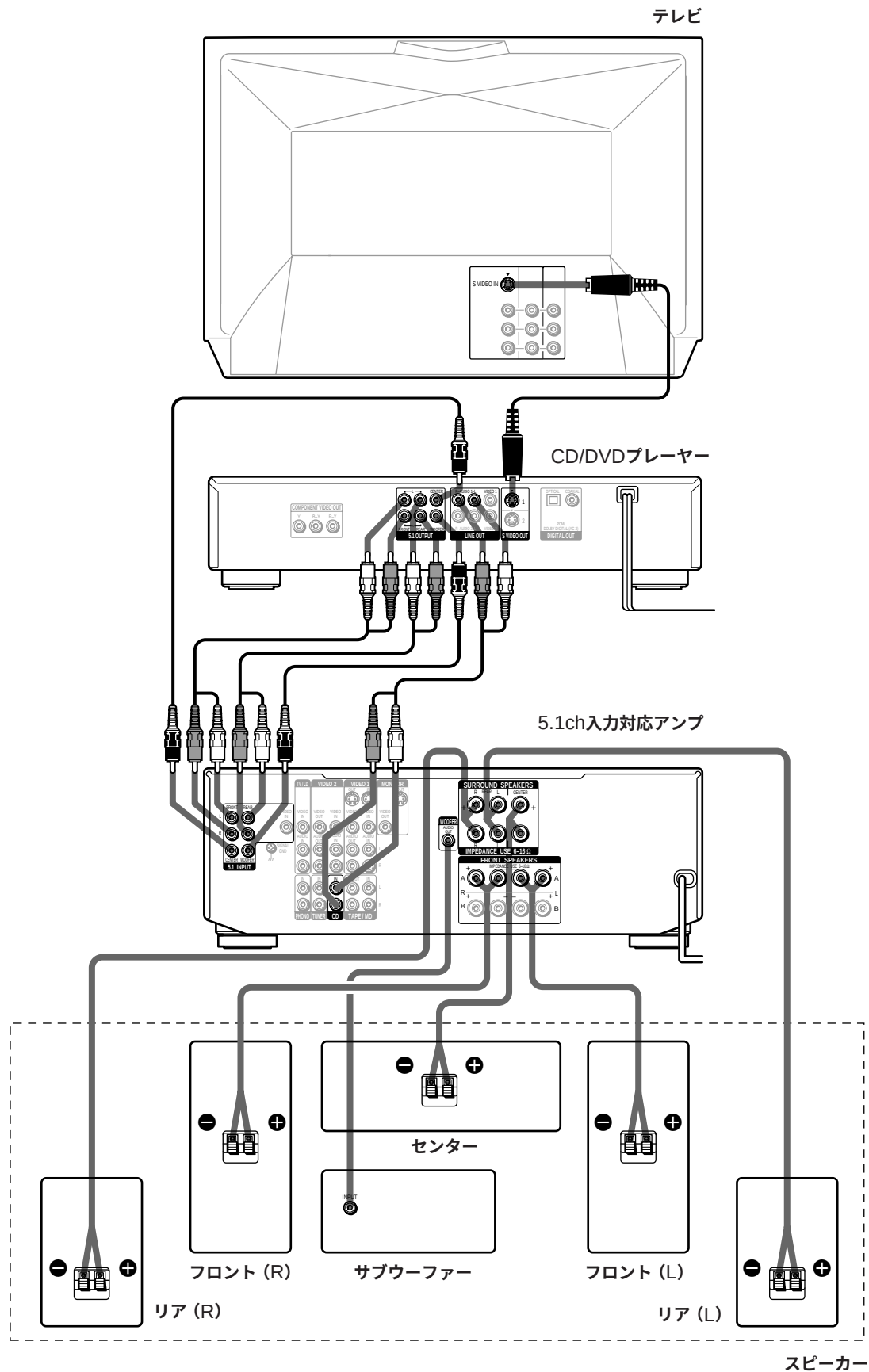
アンプおよびスピーカーを接続する

本機の5.1ch出力と5.1ch入力対応アンプ（ソニーTA-V606など）、およびスピーカーを接続します。接続の全体図は次ページをご覧ください。

接続についてのご注意

- 電源を必ず切ってから接続してください。
- すべての接続が完了するまで、電源コードは接続しないでください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因となります。
- 接続コードの赤いプラグはオーディオR（右）端子へ、白いプラグはオーディオL（左）端子へつなぎます。センタースピーカーやサブウーファーには、赤、白のケーブルを任意にお使いください。





スピーカーを設置する

サラウンドサウンドを十分に楽しむために、以下の点に留意することをおすすめします。

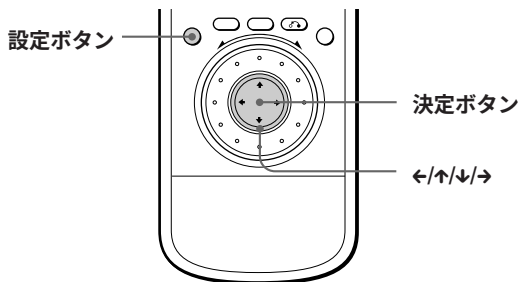
- なるべく性能のよいスピーカーを用意する
- フロント、リア、およびセンターとして、同じ大きさと性能のスピーカーを使う
- 各スピーカーをリスニングポジションからなるべく同じ距離に設置する
- サブウーファーはなるべくフロントスピーカー（L、R）の間に設置する

ご注意

センタースピーカー、リアスピーカーはフロントスピーカーよりも遠くに設置しないでください。

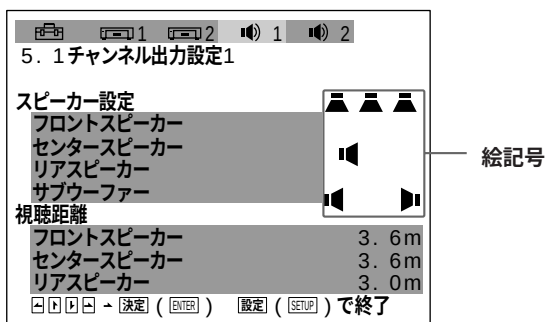
スピーカーの設定をする

ドルビーサラウンドを十分に楽しむために、つないだスピーカーの種類と、リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。次にテストトーンを使って、各スピーカーの音量が同じレベルになるように調節します。



スピーカーの種類を設定する

- 1 設定ボタンを押して「1」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 設定したいスピーカーを「スピーカー設定」の中から選び、決定ボタンを押す。
- 3 お使いのスピーカーに合わせて、画面の絵記号を選び、決定ボタンを押す。



ご注意

絵記号を選んだときは、音が一瞬途切れます。

■ フロントスピーカー、センタースピーカー、リアスピーカーのとき

通常はこの設定にしておきます（お買い上げ時の設定）。

ドルビーデジタルのソースを再生しているときに音が割れたり、サラウンドの効果が不十分に感じられるときはこの設定にします。本機のドルビーデジタル（AC-3）低域変換回路が働き、低域の出力が他のスピーカーから出力されます。

センタースピーカー、リアスピーカーをつないでいないときに設定します。

■ サブウーファーのとき

サブウーファーを接続しているときに設定し、サブウーファーからLFE（低音増強）信号を出力します（お買い上げ時の設定）。

サブウーファーを接続していないときに設定します。本機のドルビーデジタル（AC-3）低域変換回路が働き、LFE信号は他のスピーカーから出力されます。

ドルビーデジタルのサラウンドサウンドを効果的に楽しむために、スピーカーの組み合わせによっては低音成分の再配分が必要な場合があります。このため、本機ではこれらの再配分方法を効率化し、いくつかのパターンを設定して、ご使用になるスピーカーの組み合わせに最適なものが選択されるようになっています。

ご使用のスピーカーで低音再生が十分にできない場合は、すべてのスピーカー設定を「▲(小)」にして、低音再生用にサブウーファーをお使いいただくことをおすすめします。

ご注意

- 本機ではサブウーファーのカットオフ周波数は100Hzに固定されています。
- サブウーファー側のカットオフ周波数はできるだけ高くしてお使いください。
- 他のスピーカーの設定によっては、サブウーファーから大音量が出ることがあります。

リスニングポジションからのスピーカーの距離を設定する

- 1 設定ボタンを押して「 1」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 設定したいスピーカーを「視聴距離」の中から選び、決定ボタンを押す。
- 3 リスニングポジションからお使いのスピーカーまでの距離を $\uparrow/\downarrow$ で選び、決定ボタンを押す。

ご注意

視聴距離を選んだときは、音が一瞬途切れます。

各スピーカーの視聴距離は次のように設定します。なお、カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

■ フロントスピーカー (3.6m)

- 1m～15mの範囲で、0.2m刻みで設定できます。
- 両方のフロントスピーカーがリスニングポジションから同じ距離に設置されていない場合は、リスニングポジションに近いほうのスピーカーの距離を設定します。

■ センタースピーカー (3.6m)

フロントスピーカーと同じ距離からリスニングポジションに1m近い距離までの範囲で、0.2m刻みで設定できます。

ご注意

センタースピーカーをフロントスピーカーより遠くに設置しないでください。

■ リアスピーカー (3m)

- フロントスピーカーと同じ距離からリスニングポジションに5m近い距離までの範囲で、0.2m刻みで設定できます。
- 両方のリアスピーカーがリスニングポジションから同じ距離に設置されていない場合は、リスニングポジションに近い方のスピーカーの距離を設定します。

ご注意

リアスピーカーをフロントスピーカーより遠くに設置しないでください。

スピーカーの音量を調節する

- 1 停止中に、設定ボタンを押して「 2」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 「テストトーン」を「入」にする。
各スピーカーから順番にテストトーンが聞こえます。

- 3 すべてのスピーカーからのテストトーンが同じレベルに聞こえるように、「バランス調整」および「レベル調整」の設定を調節する。
調節している間は、調節しているスピーカーから同時にテストトーンが聞こえます。
- 4 調節が終わったら、「テストトーン」を「切」にして、テストトーンを消します。



ご注意

ディスクを再生しているときはテストトーンは出ません。

各項目の値は次のように調節します。なお、カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

■ フロントバランス (0dB)

左右のフロントスピーカーのバランスを調節します。
-8dB (L)～+8dB (R) の範囲で0.5dB刻みで調節できます。

■ リアバランス (0dB)

左右のリアスピーカーのバランスを調節します。
-8dB (L)～+8dB (R) の範囲で0.5dB刻みで調節できます。

■ センターレベル (0dB)

センタースピーカーのレベルを調節します。
-20dB～+6dBの範囲で0.5dB刻みで調節できます。

■ リアレベル (0dB)

リアスピーカーのレベルを調節します。
-20dB～+6dBの範囲で0.5dB刻みで調節できます。

■ サブウーファーレベル (0dB)

サブウーファーのレベルを調節します。
-10dB～+6dBの範囲で0.5dB刻みで調節できます。
なおサブウーファーからはテストトーンは出力されません。

-  すべてのスピーカーの音量をいちどに変えるときは
アンプの音量を調節します。

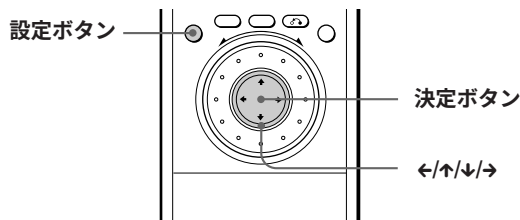
-  5.1チャンネル出力設定をお買い上げ時の状態に戻すには
絵記号や項目を選んでクリアボタンを押します。

ドルビーデジタルサラウンドで聞く

ドルビーデジタルサラウンドをお楽しみいただくために、本機からの5.1ch出力端子からの出力信号を設定します。

ご注意

ドルビーデジタルサラウンド本来の音声をお楽しみいただくときは、「初期設定 2」の「音声デジタル出力」を「ダウンミックスPCM」に設定しないでください（39ページ）。



- 1 設定ボタンを押して「 2」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 お好みの「音声モード」を設定する。



お買い上げ時には「切」に設定されています。

■ 音声モード

• 切

DVDに記録されている5.1chのすべての信号を出力します。ただし、スピーカーが5+1個接続されていないときは、接続されていないチャンネルの信号成分をスピーカーが接続されている他のチャンネルに振り分けて出力します。

CDやビデオCDを再生したときは、ステレオの信号をフロントスピーカーから出力します。

• プロロジック

記録されているステレオ信号をプロロジック処理して再生するよう設定します。

• VES A*

ステレオ信号を3D立体音像処理により、リアスピーカーを使わずにフロントのみで、リアに仮想スピーカーを再現します。仮想スピーカーは図1のように再生されます。

• VES B*

ステレオ信号を3D立体音像処理により、リアスピーカーを使わずにフロントのみで、リアに仮想スピーカーを再現します。仮想スピーカーは図2のように再生されます。

* 「VES A」「VES B」の設定は LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子の出力にも影響します。

ご注意

- 項目を選んだときは一瞬音が途切れます。
- 「プロロジック」を選んでいると、ディスクによってはセンタースピーカーだけから音が出ることがあります。
- 「プロロジック」と「VES A」「VES B」では再生する信号にサラウンド成分が含まれていない場合、効果がわかりにくかったり、音がひずむことがあります。このようなときは設定を「切」にしてください。
- フロントスピーカーだけをつないでお使いのときは、「プロロジック」を選んでもサラウンド効果がない場合があります。
- 「VES A」または「VES B」に設定しているときは、フロントスピーカー以外のレベル調整やバランス調整はできません。
- 両方のフロントスピーカーがリスニングポジションから同じ距離に設置されていないときは、「VES A」または「VES B」を選んでも効果がわかりにくいことがあります。
- 「プロロジック」は次の音声を再生するときに働きます。
 - ビデオCDとCDの音声
 - DVDのPCM音声
 - DVDのドルビーデジタル 2/0 音声

図1 VES (Virtual Enhanced Surround) A

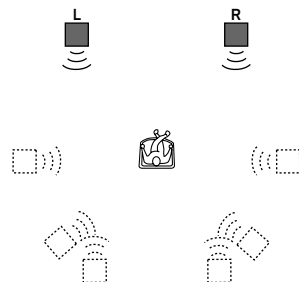
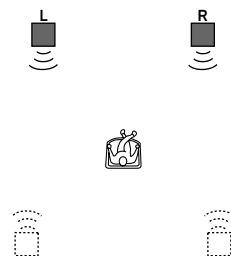
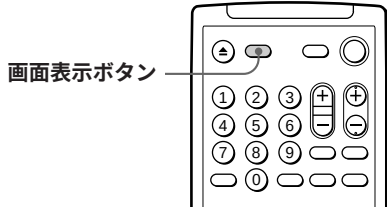


図2 VES (Virtual Enhanced Surround) B

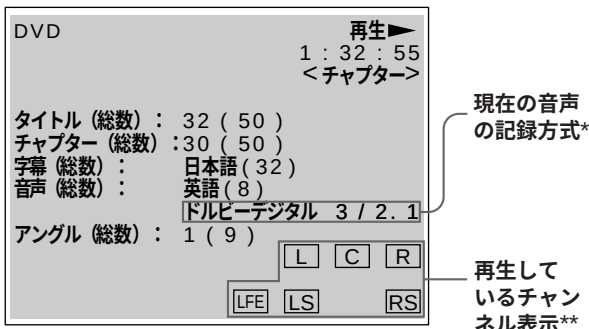


再生しているチャンネルを表示する

現在再生中のDVDに記録されているチャンネル数を表示させることができます。ドルビーデジタル (AC-3) 方式では、モノラルから5.1chまでの信号がDVDに記録できます。記録されているチャンネル数はDVDにより異なります。

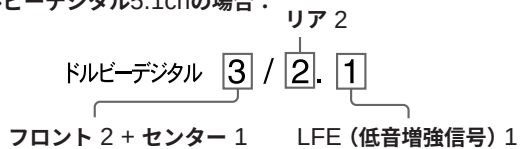


画面表示ボタンをくり返し押して、「画面表示2」を表示させる。



- * 「PCM」あるいは「MPEG」、「ドルビーデジタル」と表示されます。「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが数字で表示されます。

ドルビーデジタル5.1chの場合：



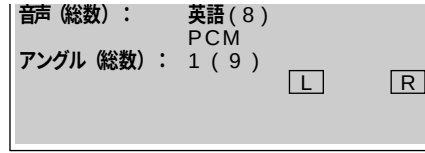
- ** チャンネル表示はスピーカーの有無にかかわらず、再生中のトラックに記録されている信号を表します。各記号は次のチャンネルを表しています。

L フロント (L)
R フロント (R)
C センター (モノラル)
LS リア (L)
RS リア (R)
S リア (モノラル): プロロジック処理された2ch信号のリア成分です。
LFE: サブウーファーにLFE (低音増強) 信号を出力しているときのみ表示されます。

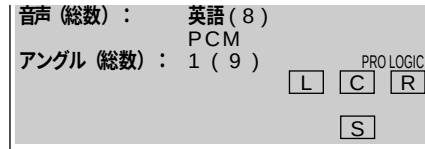
「S」が灰色に表示されているときは、SET UP (設定) 画面の「5.1チャンネル出力設定2」の「音声モード」を「プロロジック」または「VES A」、「VES B」に設定すると、より効果的なサラウンドをお楽しみいただけます (ドルビーデジタル 2/0時のみ)。

画面表示の例

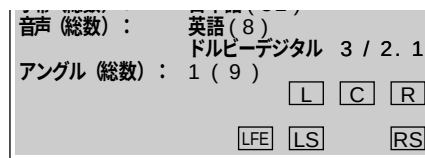
- PCM (ステレオ) のとき



- プロロジック (PCM) のとき



- ドルビーデジタル (AC-3) 5.1チャンネルのとき



💡 ドルビーサラウンドでエンコードされたソフトはパッケージを見ればわかります。

DOLBY DIGITAL のロゴのついたディスクをご使用ください。このロゴが付いていないと、ドルビーデジタル (AC-3) を使って再生できません。

ご注意

ドルビーデジタルランプは次の場合に消灯します

- CDまたはビデオCDを入れたとき
- 再生中の音声トラックの方式がPCMまたはMPEG オーディオのとき

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいでください。

結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

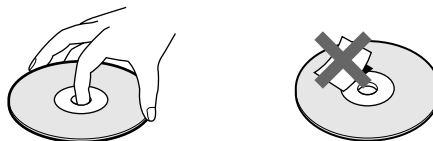
残像現象（画像の焼きつき）のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機のSET UP（設定）画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 紙やシールを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

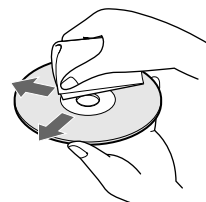


保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

本機でお使いいただける音楽CDは円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源が入らない。

- POWERスイッチのランプが点灯していなければ、電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- テレビの入力端子を間違えている（11ページ）。
- テレビの電源が入っていない。
- テレビの入力切換でCD/DVDプレーヤーの映像が映るようにしていない。

音が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- アンプの入力端子を間違えている（11ページ）。
- アンプまたはテレビの電源が入っていない。
- アンプの入力切換でCD/DVDプレーヤーの音声が映るようにしていない。
- 一時停止、スロー再生になっている。
- 早送り1、2/早戻し1、2になっている。
- スピーカーの接続を確認してください（40ページ）。お使いのアンプの説明書も合わせてご覧ください。
- ドルビーデジタル（AC-3）の音声をDIGITAL OUT端子から出力するときは、SET UP（設定）画面の「初期設定 2」の「音声デジタル出力」を「ダウンミックスPCM」に設定してください（39ページ）。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体との間に障害物がある。
- リモコンと本体との距離が離れている。
- 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。
- リモコンの電池が消耗している。

映像が乱れる。

- ディスクに汚れ、傷がある。
- 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性があります。本機をテレビに直接接続しているにもかかわらず画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子への接続をお試しください。

雑音が多い。

- ディスクに汚れ、傷がある。

音がひずむ。

- SET UP（設定）画面の「初期設定2」の「オーディオ

ATT」を「入」にする。

再生が始まらない。

- ディスクが入っていない。（テレビ画面に、「ディスクを入れてください」の表示が出ている。）
- ディスクが裏返しに入っている。（再生面を下にする。）
- ディスクが斜めにずれて入っている。
- ディスクに汚れ、傷がある。
- CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（9ページ）。
- 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。（8ページ）
- 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態です約30分放置し、再度電源を入れ直してから再生を始める（46ページ）。

再生がディスクの最初から始まらない。

- リピート、シャッフル、プログラム再生になっている（26ページ～28ページ）。
- 「つづき再生」になっている。停止中に、本体またはリモコンの■（停止）ボタンを押し、表示窓の「RESUME」を消してから、再生を始める（29ページ）。
- 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面に入るディスクを入れている（17、21ページ）。

DVDのタイトルを選択しても、再生が始まらない。

- 視聴年齢制限の機能が働いている（32ページ）。

再生が自動的に始まる。

- 自動的に再生が始まるDVDを入れている。

再生が自動的に止まる。

- ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。

ストップ、サーチ、スロー等の操作ができない。

- 操作を禁止しているディスクを再生している（8ページ）。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

プレイモードのいろいろな再生（シャッフル再生、プログラム再生等）ができない。

- DVD、ビデオCDによってはできない場合があります。

画面に英語でメッセージが表示される。

- SET UP（設定）画面の「言語設定」の「画面表示言語」が「ENGLISH」になっている（37ページ）。

音声言語を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。

字幕を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。

字幕言語が自動的に切り換わる。

- SET UP (設定) 画面の「初期設定2」の「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」より優先されるため、字幕の言語が自動的に切り換わることがあります。

字幕を消すことができない。

- 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

アングルを変更して見ることができない。

- 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
- 表示窓の「ANGLE」が点灯していない場面で、アングルを切り換えている (24、31ページ)。
- アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

DVDのワイド画像を再生したときに、画像アスペクト比を変更できない。

- 画像アスペクト比が固定されているディスクを再生している (9、38ページ)。
- S映像出力をテレビに直接つないでいない。(本機とテレビの間にセレクターやAVアンプなどを接続している。)
- テレビによっては画像アスペクト比を変更できないものもあります。

ビデオCDのメニュー画面が表示されない。

- PBC対応でないビデオCDを再生している。
- PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。(ビデオCDの取扱説明書もあわせてご覧ください。)

ビデオCD、CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる

- リモコンの音声切替ボタンでモノラルを選択している (表示窓の「1/L」または「2/R」が点灯している) (30ページ)。
- スピーカーの接続を確認してください。

ドルビーデジタル (AC-3) の音声トラックを再生しているのにサラウンド効果がかからない

- スピーカーの設定が正しくない (42ページ)。(接続している5.1ch入力端子付きAVアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。)
- SET UP (設定) 画面の「5.1チャンネル出力設定2」の「音声モード」が「切」になっていない (44ページ)。
- ドルビーデジタル (AC-3) のディスクであっても5.1chすべてから出力されないもの (モノラルやL、Rステレオなど) もあります。

テレビ画面に5桁の数字が表示されている。

- 自己診断機能が働いています。49ページの表を見て対応してください。

ご注意

静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コンセントを抜き差しして、もう一度動作させてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

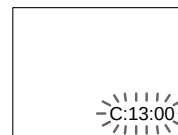
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: DVP-S501D
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況:
- 故障したときに再生していたディスク:
- 購入年月日:
- お買い上げ店:

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、テレビ画面と表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C:13:00）が表示され、点滅します。その際は次のように対応してください。



コード番号の 最初の3桁	これが原因です	次のことを確認してください
C13	ディスクが汚れている	柔らかい布でディスクを拭く（46ページ）
C31	ディスクが正しく入っていない	ディスクを正しく入れ直す
EXX（XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E6110

主な仕様

システム

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	EIAJ標準、NTSCカラー方式

音声特性

周波数特性	DVD (PCM 96kHz再生時) : 2Hz~44kHz (±0.5dB) *
	DVD (PCM 48kHz再生時) : 2Hz~22kHz (±0.5dB) *
	CD : 2Hz~20kHz (±0.5dB) *
信号対雑音比 (S/N比)	115dB* (LINE OUT (AUDIO 1, 2) 端子のみ)
全高調波ひずみ率	0.002%*
ダイナミックレンジ	DVD : 103dB* CD : 100dB*
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001% W PEAK) 以下*

入出力端子

端子名	端子形状	最大出力 レベル	負荷インピー ダンス
LINE OUT (AUDIO 1,2)	ピンジャック	2Vrms (50kΩ)	10kΩ 以上
DIGITAL OUT (OPTICAL)	光出力 コネクタ	-18dBm	発光波長 660nm
DIGITAL OUT (COAXIAL)	ピンジャック	0.5 V _{P-P}	75Ω 終端
LINE OUT (VIDEO1, 2)	ピンジャック	1.0V _{P-P}	75Ω 同期負
S VIDEO OUT (1, 2)	4ピンミニ DIN	輝度信号 : 1.0V _{P-P} 色信号 : 0.286 V _{P-P}	75Ω 同期負 75Ω 終端
COMPONENT VIDEO OUT (Y, C _B /B-Y, C _R /R-Y)	ピンジャック Y: 1.0V _{P-P} C _B /B-Y、 C _R /R-Y	: 0.7V _{P-P}	75Ω 同期負 75Ω 終端
PHONES	ステレオ標準 ジャック	12mW (可変最大)	32Ω
5.1 OUTPUT	ピンジャック	1.6Vrms (50kΩ)	10kΩ 以上

電源、その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	20W
最大外形寸法	430×98×325mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約 4.0kg
許容動作温度	5~35℃
許容動作湿度	5~90%

付属品

10ページをご覧ください。

* EIAJ (日本電子機械工業会) の規格による測定値です。
96kHzPCM音声の測定はLINE OUT (AUDIO 1,2) 端子
を使用。96kHzPCM音声はDIGITAL OUT (OPTICAL,
COAXIAL) 端子および5.1 OUTPUT 端子からは
48kHz/16bitに変換されて出力されます。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあ
りますが、ご了承ください。

用語解説

視聴年齢制限

国ごとの規制レベルに合わせて視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能のひとつ。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

タイトル

DVDに記録されている映像や曲の区切りのいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号という。

チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号という。

デジタルシネマサウンド (DCS)

ソニーが開発したホームシアター用サラウンド技術のコンセプト名。従来の音楽演奏用の空間をベースとしたサラウンドとは違い、映画製作スタジオの音場をシミュレートした、「映画館の迫力を家庭で楽しむ」ためのサラウンドになっている。DCSにはさまざまなサラウンドプログラムが用意されているが、本機は其中で「VES (ヴァーチャル・エンハンスド・サラウンド)」を採用。フロントスピーカー2台のみで後方に複数のスピーカーを配置したかのようなサラウンドを楽しむことができる。

トラック

CDやビデオCDに記録されている、映像や曲の区切り(1曲分)のこと。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号という。

ドルビーデジタル (AC-3)

ドルビー社の開発した音声のデジタル圧縮技術であり、5.1チャンネル・サラウンドに対応している。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションがよく、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ビットレート

DVDに圧縮して記録されている画像の、1秒あたりの情報量を示す値。単位はMbps (Mega bit per second) で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が

1,000,000ビットであることを表す。

この値が大きいほど画像の情報量は多くなるが、必ずしも画質とは直接関係しない。

ビデオCD

動画の記録されているCD。

ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」(エムペグ1)を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。

また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC (プレイバックコントロール) 機能を持ったバージョン2.0がある。

マルチアングル

DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル (カメラの位置) で記録されていること。

マルチランゲージ

DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号。

PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面 (選択画面) を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめる。

DVD

CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB (Giga Byte) とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

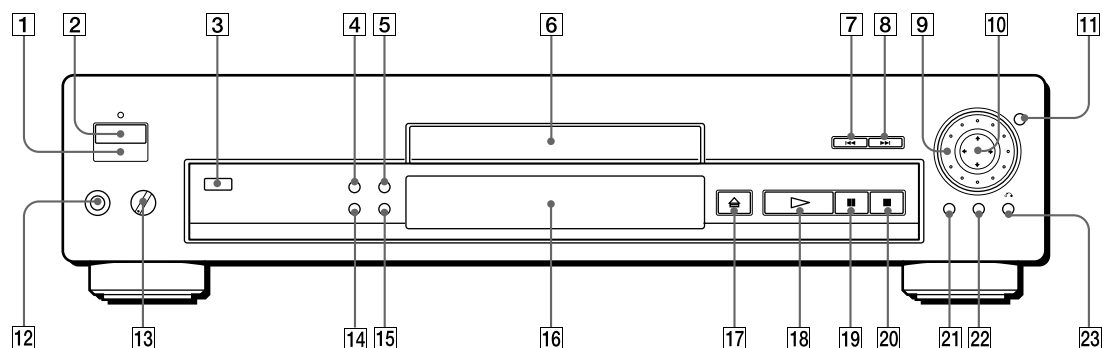
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」(エムペグ2)を採用し、映像データを約1/40 (平均) に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタル (AC-3) を用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

各部のなまえ

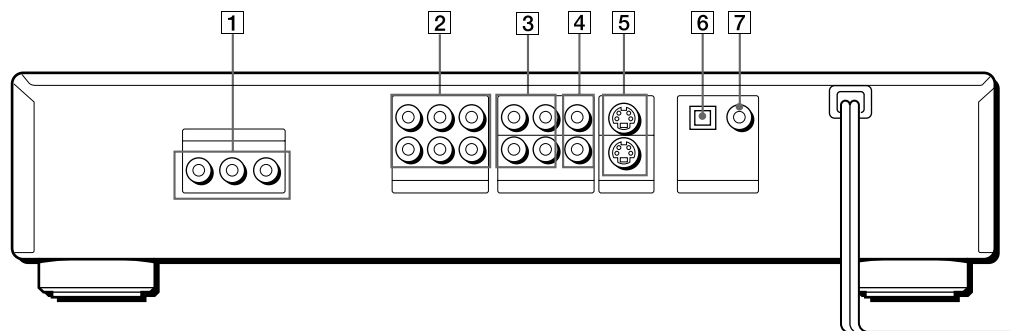
詳しい説明は（ ）内のページをご覧ください。

本体前面



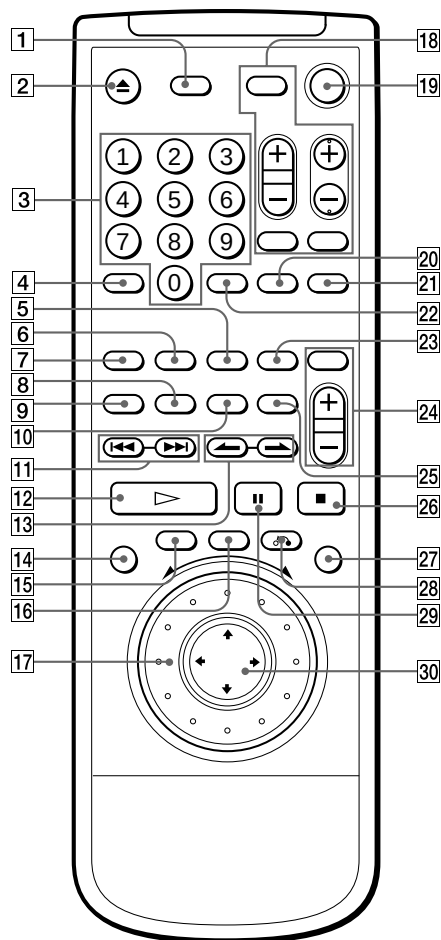
- | | |
|---|--|
| <p>1 図 (リモコン受光部) (10)
リモコンからの信号を受信する。</p> <p>2 POWER (電源) スイッチとランプ (14、18)
電源を入/切するときに押す。</p> <p>3 ドルビーデジタルランプ (14、45)
主にドルビーデジタル (AC-3) の音声トラックを再生中に点灯する。</p> <p>4 SHUFFLE (シャッフル) ボタン (27)
順不同に再生したいときに使う。</p> <p>5 REPEAT (くり返し) ボタン (26)
リピート再生したいときに使う。</p> <p>6 ディスクトレイ (14、18)
再生するディスクを入れる。</p> <p>7 ◀◀ PREV (前) ボタン (15、19)
前の場面や曲に戻すときに押す。</p> <p>8 ▶▶ NEXT (次) ボタン (15、19)
次の場面や曲に進めるときに押す。</p> <p>9 クリックシャトル (16、20)
主に速さを変えながら再生したいときに使う。</p> <p>10 ←/↑/↓/→ / ENTER (決定) ボタン
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。</p> <p>11 JOG ボタン (16、20)
速さを変えてコマ送りで再生したいときに押す。</p> <p>12 PHONES (ヘッドホン) 端子 (14、18)
ヘッドホンをつなぐ。</p> | <p>13 PHONE LEVEL (ヘッドホン音量) つまみ (14、18)
ヘッドホンの音量を調節する。</p> <p>14 PROGRAM (プログラム) ボタン (28)
プログラム再生したいときに使う。</p> <p>15 CLEAR (クリア) ボタン (26、27、28)
主にリピート再生や、シャッフル再生、プログラム再生時に通常の再生に戻したいときに使う。</p> <p>16 表示窓 (24)
再生時間などを表示する。</p> <p>17 △ OPEN/CLOSE (開/閉) ボタン (15、19)
ディスクトレイを出し入れするときに押す。</p> <p>18 ▷ PLAY (再生/セレクト) ボタン (14、18)
再生するときに押す。</p> <p>19 PAUSE (一時停止) ボタン (15、19)
再生を一時停止するときに押す。</p> <p>20 ■ STOP (停止) ボタン (15、19、29)
再生を止めるときに押す。</p> <p>21 TITLE (タイトル) ボタン (17)
タイトルメニューを出すときに押す。</p> <p>22 DVD MENU (DVDメニュー) ボタン (17)
DVDメニューを出すときに押す。</p> <p>23 ↶ RETURN (リターン) ボタン (21)
おもにひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。</p> |
|---|--|

本体裏面



- ① COMPONENT VIDEO OUT (コンポーネントビデオ出力) 端子 (11)**
 本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子 (Y、Cb/B-Y、Cr/R-Y) のあるテレビやプロジェクターにつなぐときに使う。
- ② 5.1OUTPUT端子 (40)**
 5.1ch入力対応アンプにつなぐときに使う。
- ③ LINE OUT (AUDIO 1、2) (音声出力) 端子 (11)**
 テレビやアンプの音声入力端子につなぐときに使う。
- ④ LINE OUT (VIDEO 1、2) (映像出力) 端子 (11)**
 テレビやモニターの映像入力端子につなぐときに使う。
- ⑤ S VIDEO OUT (1、2) (S映像出力) 端子 (11)**
 テレビやビデオのS映像入力端子につなぐときに使う。
- ⑥ DIGITAL OUT (OPTICAL) (音声デジタル出力 (光)) 端子 (12)**
 光デジタル接続ケーブルでオーディオ機器につなぐときに使う。
- ⑦ DIGITAL OUT (COAXIAL) (音声デジタル出力 (同軸)) 端子 (12)**
 同軸デジタル接続ケーブルでオーディオ機器につなぐときに使う。

リモコン



- 1 画面表示ボタン (22、45)
現在の再生状態を画面に表示させるときに押す。
- 2 ▲開／閉ボタン (15、19)
ディスクトレイを出し入れするときには押す。
- 3 数字ボタン (15、19)
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- 4 サーチモードボタン (15、23)
サーチをする単位(タイトル、チャプター、トラックなど)を選ぶときに使う。
- 5 くり返しボタン (26)
リピート再生したいときに使う。
- 6 プログラムボタン (28)
プログラム再生したいときに使う。
- 7 シャッフルボタン (27)
シャッフル再生したいときに使う。
- 8 アングル切替 ボタン (31)
DVDのアングルを切り換えるときに押す。
- 9 音声切替ボタン (30)
DVDやビデオCDの音声を切り換えるときに押す。

- 10 字幕切替ボタン (30)
DVDの字幕を切り換えるときに押す。
- 11 ◀◀ (前) / ▶▶ (次) ボタン (15、19)
前の場面や曲に戻したり、次の場面や曲に進めたりするときには押す。
- 12 ▷ (再生/セレクト) ボタン (14、18)
再生するときには押す。
- 13 ◀ / ▶ (インデックス) ボタン (19)
ビデオCDやCDで再生するインデックスを選ぶときに使う。
- 14 設定ボタン (36)
SET UP (設定) 画面の項目を設定/調整するときには押す。
- 15 タイトルボタン (17)
タイトルメニューを出すときに押す。
- 16 DVDメニューボタン (17)
DVDメニューを出すときに押す。
- 17 クリックシャトル (16、20)
主に速さを変えながら再生したいときに使う。
- 18 テレビ操作ボタン (34)
テレビを操作するときには押す。
- 19 電源ボタン (14、18)
本機の電源を入/切するときには押す。
- 20 クリアボタン (26、27、28)
選んだ数字を取り消すときに使う。
- 21 時間表示ボタン (22、24)
表示窓に再生時間などを表示させるときには押す。
- 22 決定ボタン
選んだ項目を決定するときには押す。
- 23 A↔Bボタン (26)
再生したい部分だけをくり返すときに使う。
- 24 アンプ操作ボタン (35)
ソニー製のAVアンプを操作するときには押す。
- 25 字幕入/切ボタン (30)
DVDの字幕表示を入/切するときには押す。
- 26 ■ (停止) ボタン (15、19、29)
再生を止めるときには押す。
- 27 ジョグボタン (16、20)
手で速さを変えながら再生したいときに押す。
- 28 ⌂ (リターン) ボタン (21)
ひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。
- 29 || (一時停止) ボタン (15、19)
再生を一時停止するときには押す。
- 30 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / 決定ボタン
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。

SET UP (設定) 画面項目一覧表

お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

言語設定 (37ページ)

- 画面表示言語 —
 - 日本語
 - ENGLISH
- DVDメニュー言語 —
 - 日本語
 - 英語
 - 中国語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - その他 →
- 音声言語 —
 - オリジナル
 - (DVDメニュー言語と同じ)
- 字幕言語 —
 - 日本語
 - 音声連動
 - 英語
 - 中国語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - その他 →

1 初期設定 1 (38ページ)

- TVタイプ —
 - 16:9
 - 4:3 レターボックス
 - 4:3 パンスキャン
- 自動再生 —
 - 切
 - タイマー
 - デモ 1
 - デモ 2
- 表示窓の明るさ —
 - 明
 - 暗
 - 消
- 背景画面 —
 - 青
 - 黒
- スクリーンセーバー —
 - 入
 - 切
- 視聴年齢制限 (32ページ)

2 初期設定 2 (39ページ)

- 音声トラック自動選定モード —
 - 切
 - 入
- サラウンド —
 - 入
 - 切
- 音声デジタル出力 —
 - PCM
 - ドルビーデジタル/PCM
 - ダウンミックスPCM
- オーディオDRC —
 - 切
 - 入
- オーディオATT —
 - 切
 - 入
- オーディオフィルター —
 - シャープ
 - スロー

言語コード一覧表 (くわしくは37ページをご覧ください。)

言語名表記はISO639:1988 (E/F) に準拠

コード 言語	コード 言語	コード 言語
1027 Afar	1257 Hebrew	1506 Slovenian
1028 Abkhazian	1261 Japanese	1507 Samoan
1032 Afrikaans	1269 Yiddish	1508 Shona
1039 Amharic	1283 Javanese	1509 Somali
1044 Arabic	1287 Georgian	1511 Albanian
1045 Assamese	1297 Kazakh	1512 Serbian
1051 Aymara	1298 Greenlandic	1513 Siswati
1052 Azerbaijani	1299 Cambodian	1514 Sesotho
1053 Bashkir	1300 Kannada	1515 Sundanese
1057 Byelorussian	1301 Korean	1516 Swedish
1059 Bulgarian	1305 Kashmiri	1517 Swahili
1060 Bihari	1307 Kurdish	1521 Tamil
1061 Bislama	1311 Kirghiz	1525 Telugu
1066 Bengali; Bangla	1313 Latin	1527 Tajik
1067 Tibetan	1326 Lingala	1528 Thai
1070 Breton	1327 Laothian	1529 Tigrinya
1079 Catalan	1332 Lithuanian	1531 Turkmen
1093 Corsican	1334 Latvian; Lettish	1532 Tagalog
1097 Czech	1345 Malagasy	1534 Setswana
1103 Welsh	1347 Maori	1535 Tonga
1105 Danish	1349 Macedonian	1538 Turkish
1109 German	1350 Malayalam	1539 Tsonga
1130 Bhutani	1352 Mongolian	1540 Tatar
1142 Greek	1353 Moldavian	1543 Twi
1144 English	1356 Marathi	1557 Ukrainian
1145 Esperanto	1357 Malay	1564 Urdu
1149 Spanish	1358 Maltese	1572 Uzbek
1150 Estonian	1363 Burmese	1581 Vietnamese
1151 Basque	1365 Nauru	1587 Volapük
1157 Persian	1369 Nepali	1613 Wolof
1165 Finnish	1376 Dutch	1632 Xhosa
1166 Fiji	1379 Norwegian	1665 Yoruba
1171 Faroese	1393 Occitan	1684 Chinese
1174 French	1403 (Afan)Oromo	1697 Zulu
1181 Frisian	1408 Oriya	
1183 Irish	1417 Punjabi	
1186 Scots Gaelic	1428 Polish	1703 Not specified
1194 Galician	1435 Pashto; Pushto	
1196 Guarani	1436 Portuguese	
1203 Gujarati	1463 Quechua	
1209 Hausa	1481 Rhaeto-Romance	
1217 Hindi	1482 Kirundi	
1226 Croatian	1483 Romanian	
1229 Hungarian	1489 Russian	
1233 Armenian	1491 Kinyarwanda	
1235 Interlingua	1495 Sanskrit	
1239 Interlingue	1498 Sindhi	
1245 Inupiak	1501 Sangho	
1248 Indonesian	1502 Serbo-Croatian	
1253 Icelandic	1503 Singhalese	
1254 Italian	1505 Slovak	

五十音順

あ行

アングル切り換え 31
 安全のために 2、4
 お手入れ 46
 オーディオフィルター 39
 オーディオATT 39
 オーディオDRC 39
 音声切り換え 30

か行

画面表示 22
 言語設定 37
 故障かな？と思ったら 47

さ行

サーチ 15、19
 再生
 シャッフル再生 27
 速さを変えて再生 16、30
 ふつうの再生 14、18
 プログラム再生 28
 リピート再生 26
 再生できるディスク 8
 視聴年齢制限 32
 自動再生 39
 字幕
 切り換え 30
 表示 30
 シャッフル再生 27
 シャトルモード 16、20
 初期設定1 38
 初期設定2 39
 ジョグモード 16、20
 シーン 9、21
 スピーカー
 接続 41
 設置 40
 調整 42
 スロー 16、20
 接続 10

た行

タイトル 9、51
 タイトルメニュー 17

 チャプター 9、51
 つづき再生 29
 ディスク
 入れる 14、18
 取り扱い 46
 取り出す 15、19
 デジタルシネマサウンド (DCS)
 40、51
 テストトーン 43
 テレビ画面に出る表示 22
 電池 10
 トラック 9、51
 ドルビーデジタル (AC-3)
 12、40、51

は行

バーチャル・エンハンスド・サラウ
 ンド 44、51
 早送り 16、20
 早戻し 16、20
 ビデオCD 18
 表示窓 24
 ふつうの再生 14、18
 プレイバックコントロール
 9、21、51
 プログラム再生 28
 プロロジック 44

ら行

リピート再生 26
 現在のタイトル、チャプター
 /トラック 26
 ディスク全体 26
 特定の部分のみ 27
 リモコン 10、34

アルファベット順

A↔Bリピート 27
 CD 18
 DCS 40、51
 DVD 14
 DVDメニュー 17
 PBC再生 21
 S映像出力 11
 SET UP (設定) 画面 47
 項目一覧表 55
 初期設定1 38
 初期設定2 39
 使い方 36
 5.1チャンネル出力設定1 42
 5.1チャンネル出力設定2 43
 VES 44、51
 4:3パンスキャン 38
 4:3レターボックス 38
 5.1チャンネル出力設定1 42
 5.1チャンネル出力設定2 43

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
フリーダイヤル 0120-37-8154

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111